

# 最近の交通事故発生状況について

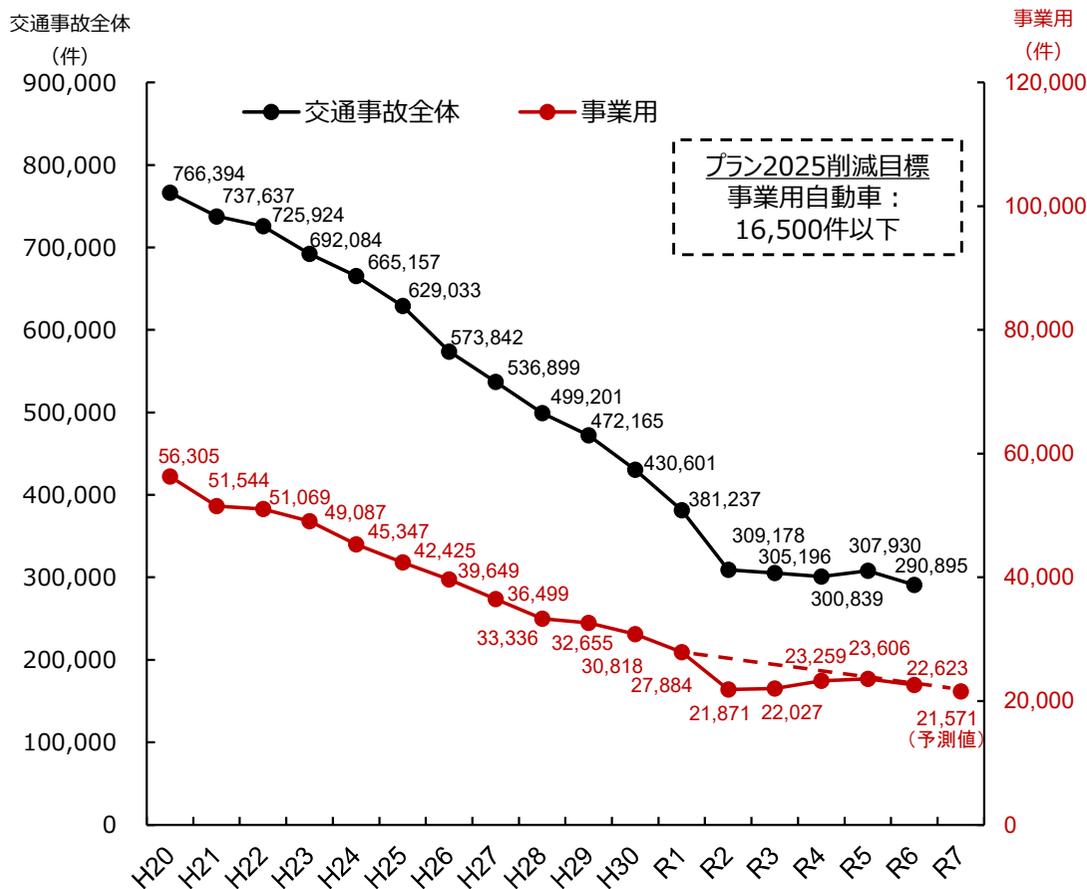
令和7年度第1回「自動車運送事業安全対策検討会」

# 事業用自動車による交通事故件数の推移

- 令和6年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は290,895件、そのうち、事業用自動車の交通事故件数※1は22,623件であった。 ※1 事業用自動車が第一当事者である人身事故件数
- 令和元年※2と比較して令和6年の交通事故件数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

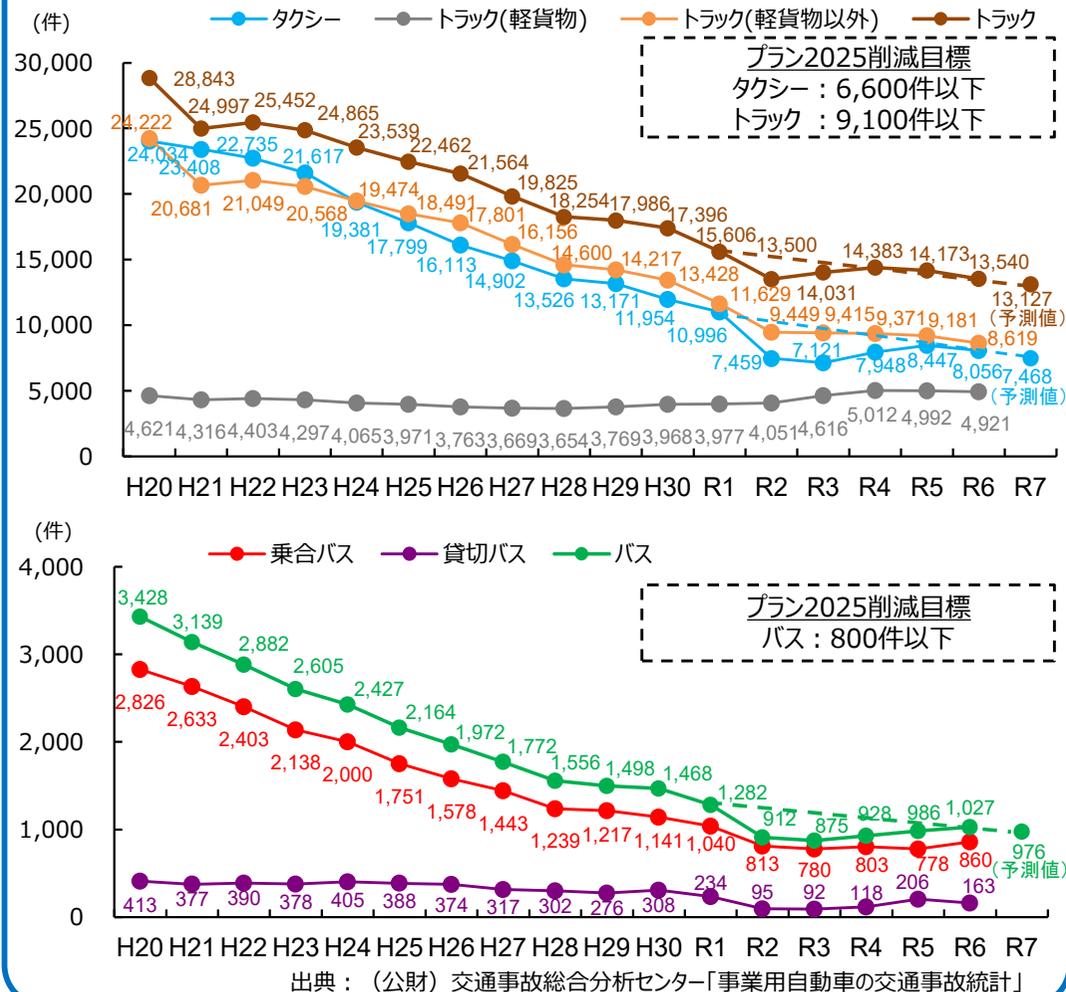
※2 プラン2025より前の年であって、コロナ禍の影響がなかった直近の年

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「令和6年中の交通事故の発生状況」  
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

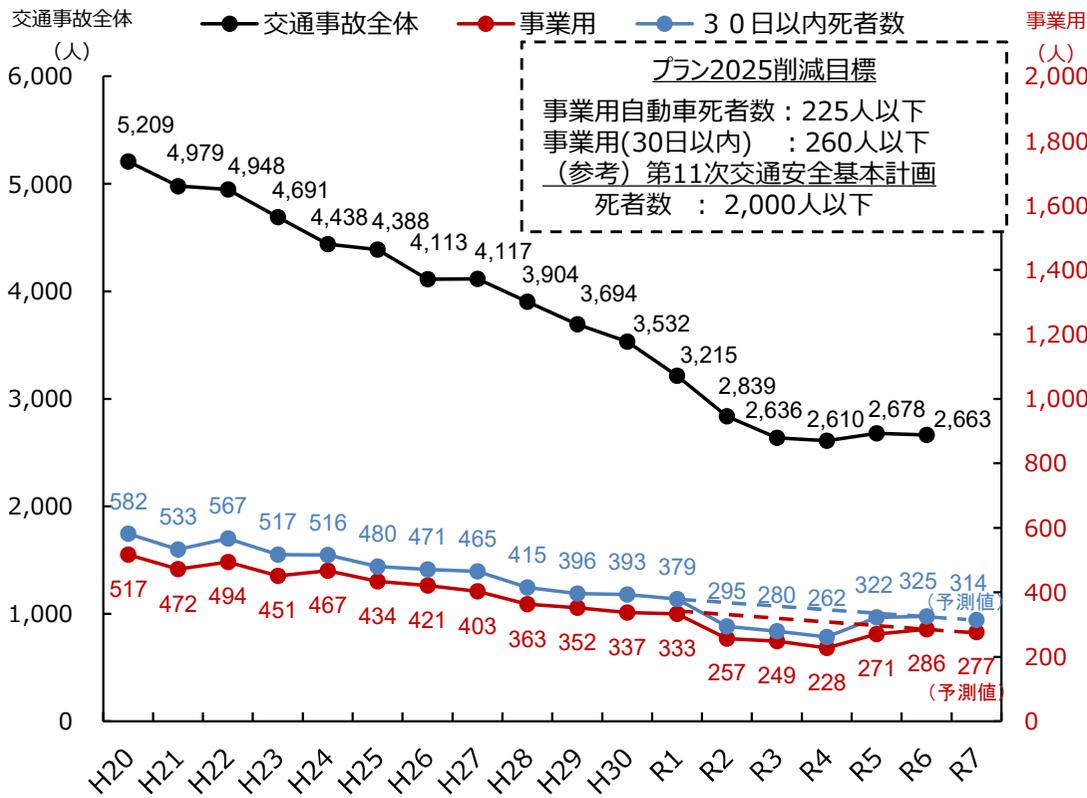
## 各モードの交通事故の推移



# 事業用自動車による交通事故死者数の推移

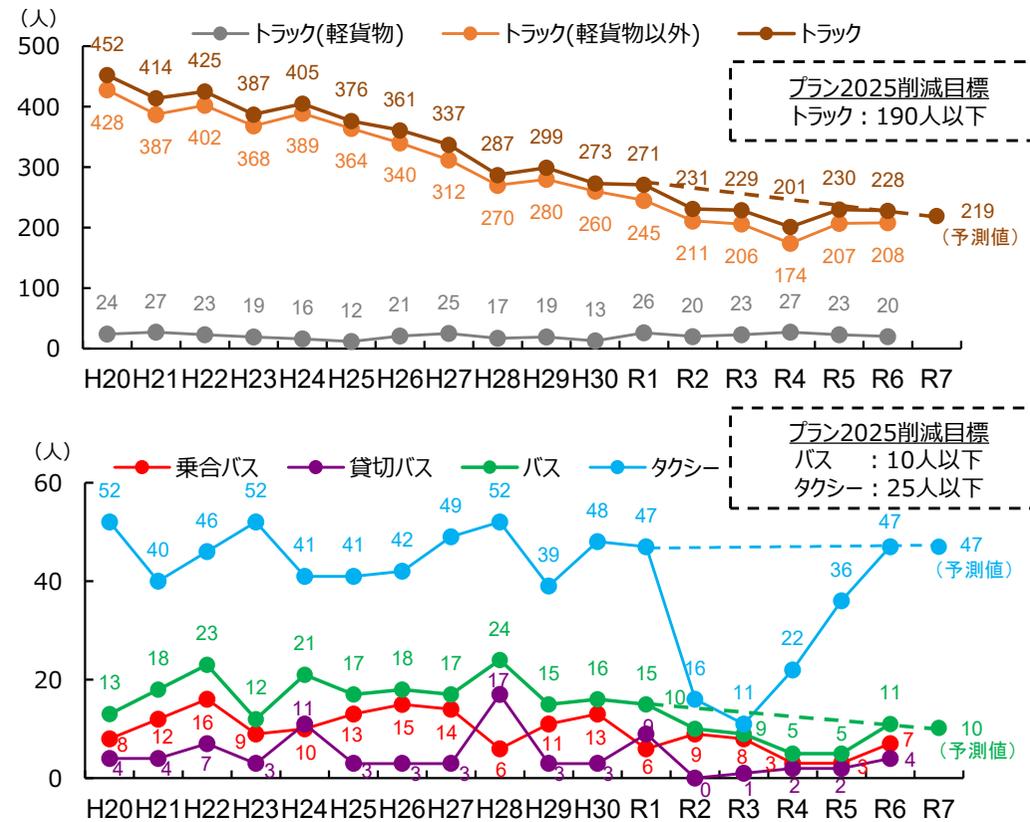
- 令和6年中に発生した交通事故全体の死者数は2,663人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は286人(前年比15人増)であった。
- 令和元年と比較して令和6年の交通事故死者数は、乗合バスにおいて増加、タクシーにおいては同数となっている。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典：警察庁「令和6年中の交通事故の発生状況」  
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

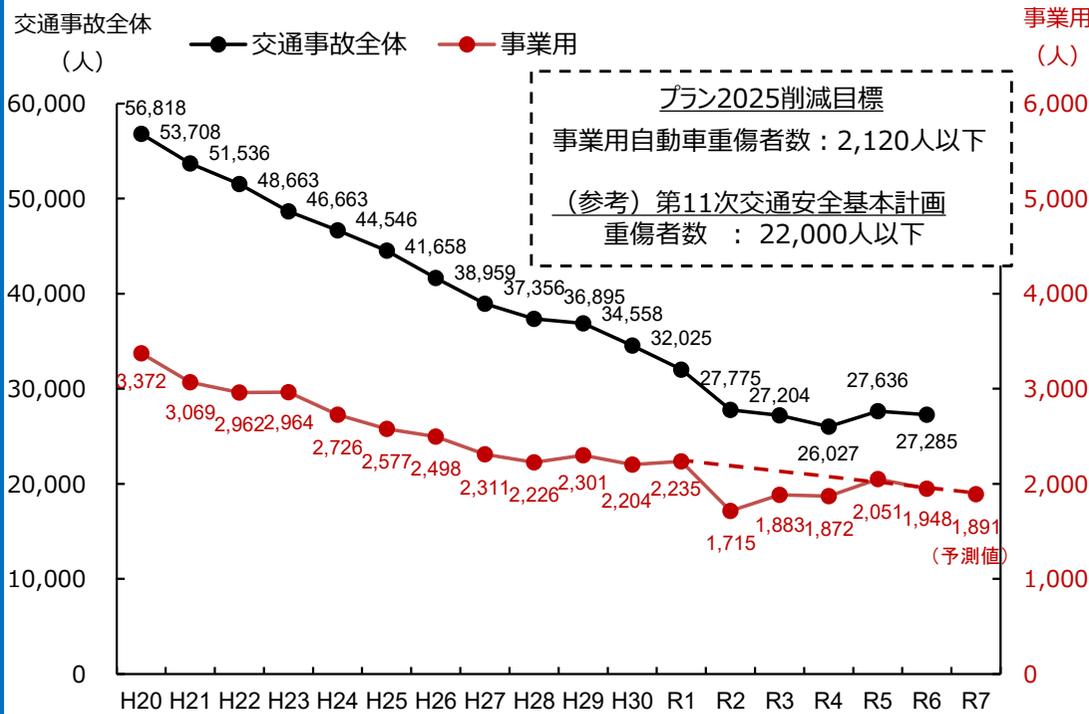
## 各モードの交通事故死者数の推移



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

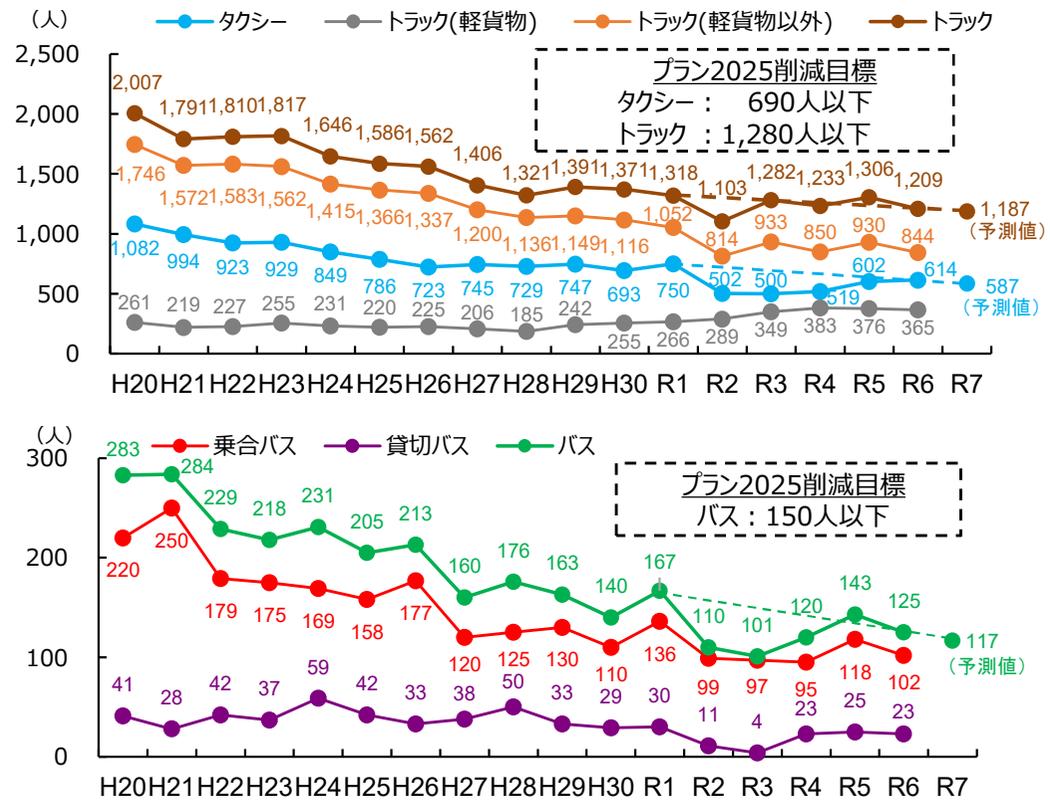
- 令和6年中に発生した交通事故全体の重傷者は27,285人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は1,948人(前年比103人減)であった。
- 令和元年と比較して令和6年の交通事故重傷者数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故重傷者数の推移



出典：警察庁「令和6年中の交通事故の発生状況」  
 (公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

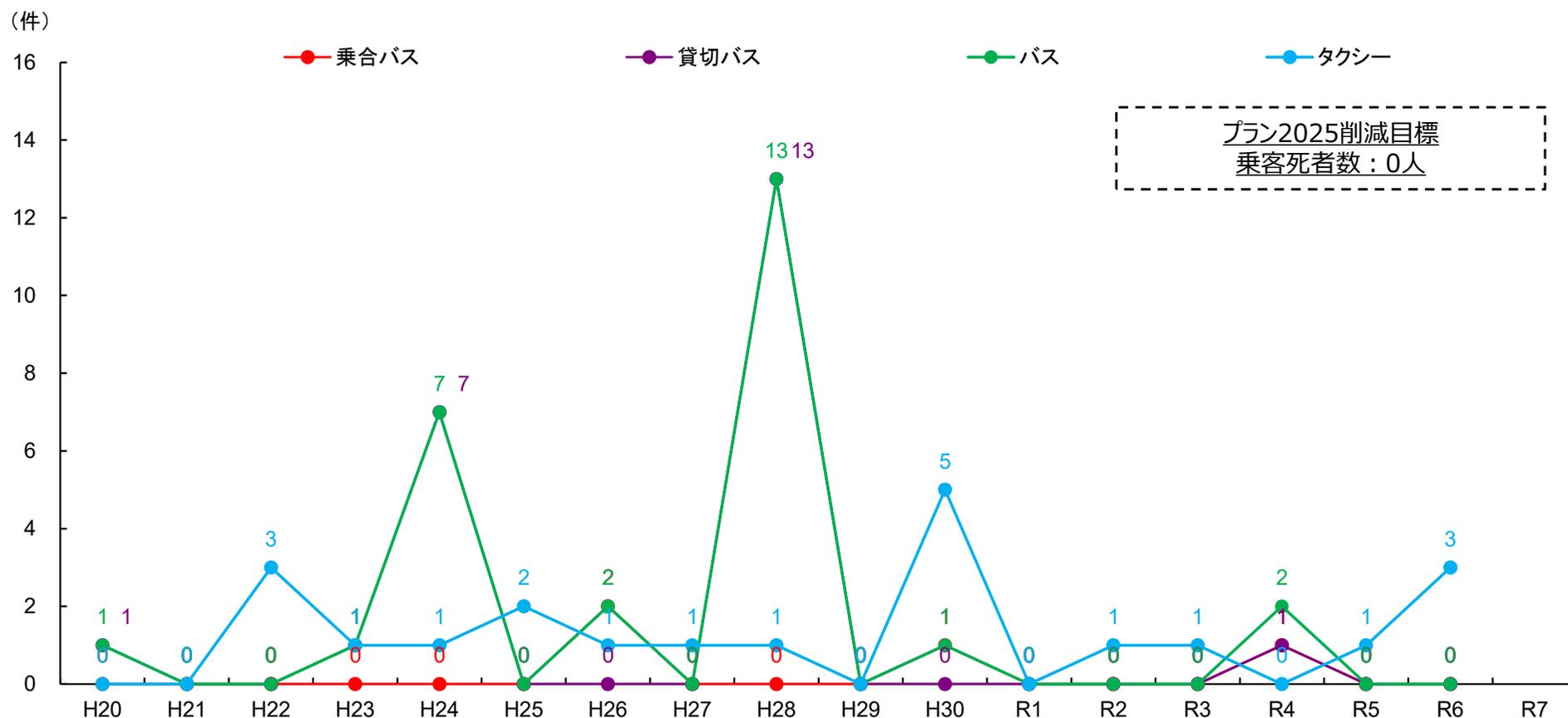
## 各モードの交通事故重傷者の推移



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 令和6年のバスによる乗客死者数は0人、タクシーによる乗客死者数は3人であった。
- バス、タクシーともに年によって乗客死者数が0人となっている。

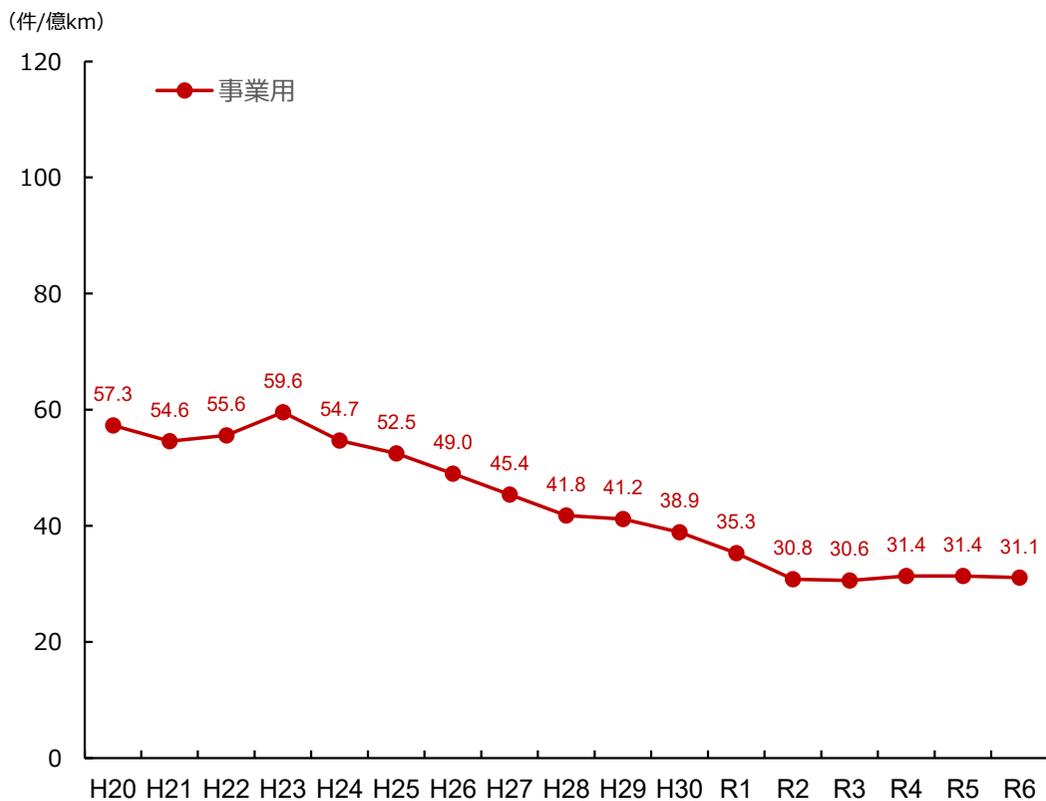
## バス、タクシーによる乗客死者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

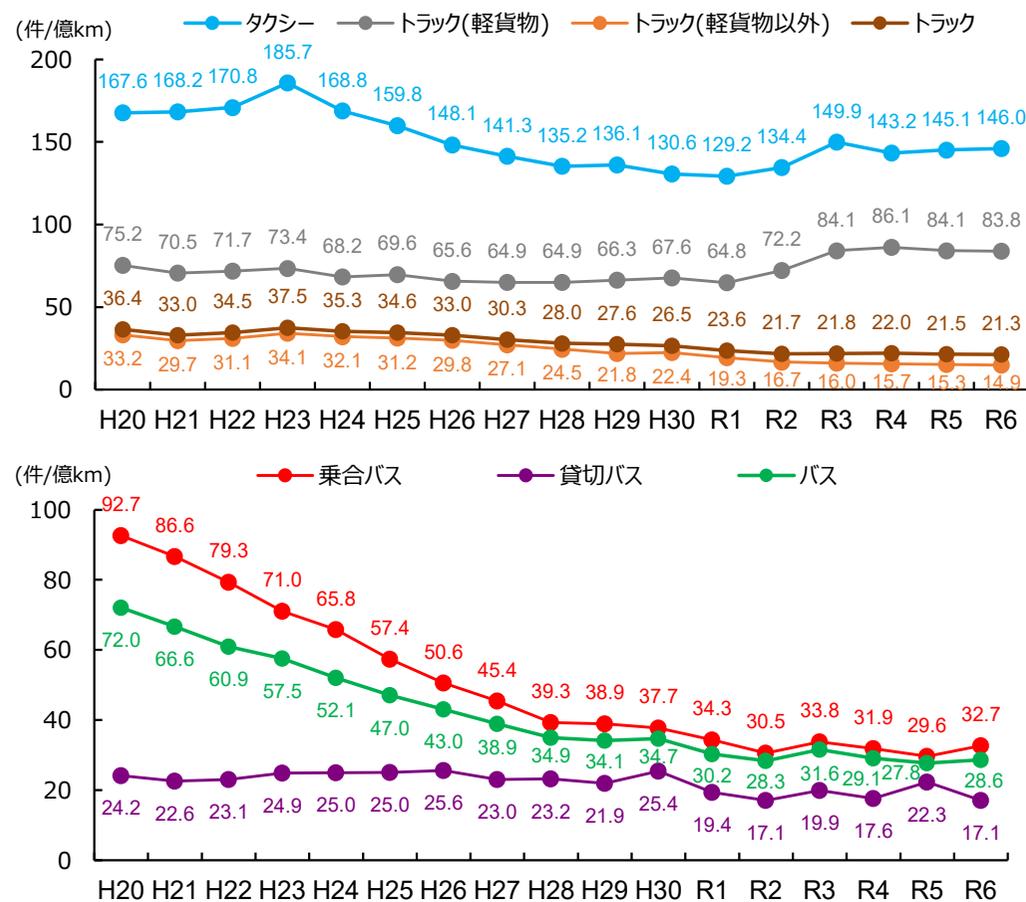
- 令和6年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故件数は31.1件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和6年の走行距離1億キロあたりの交通事故件数は、タクシー及び軽貨物において増加している。

## 事業自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
国土交通省「自動車輸送統計調査」

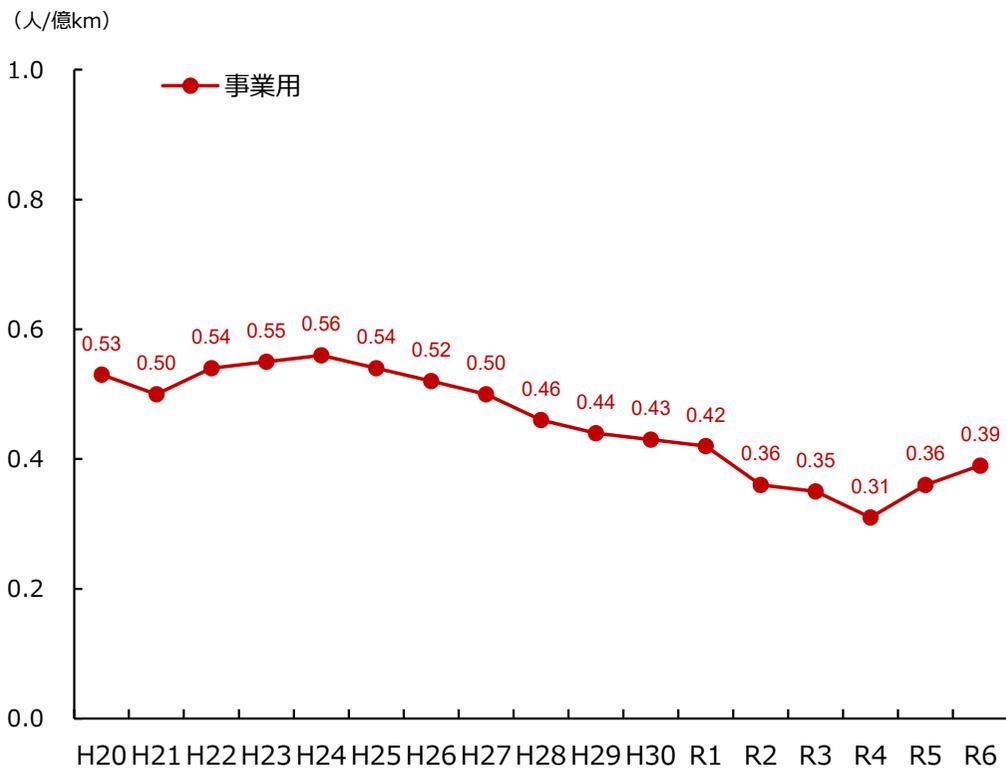
## 各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
国土交通省「自動車輸送統計調査」

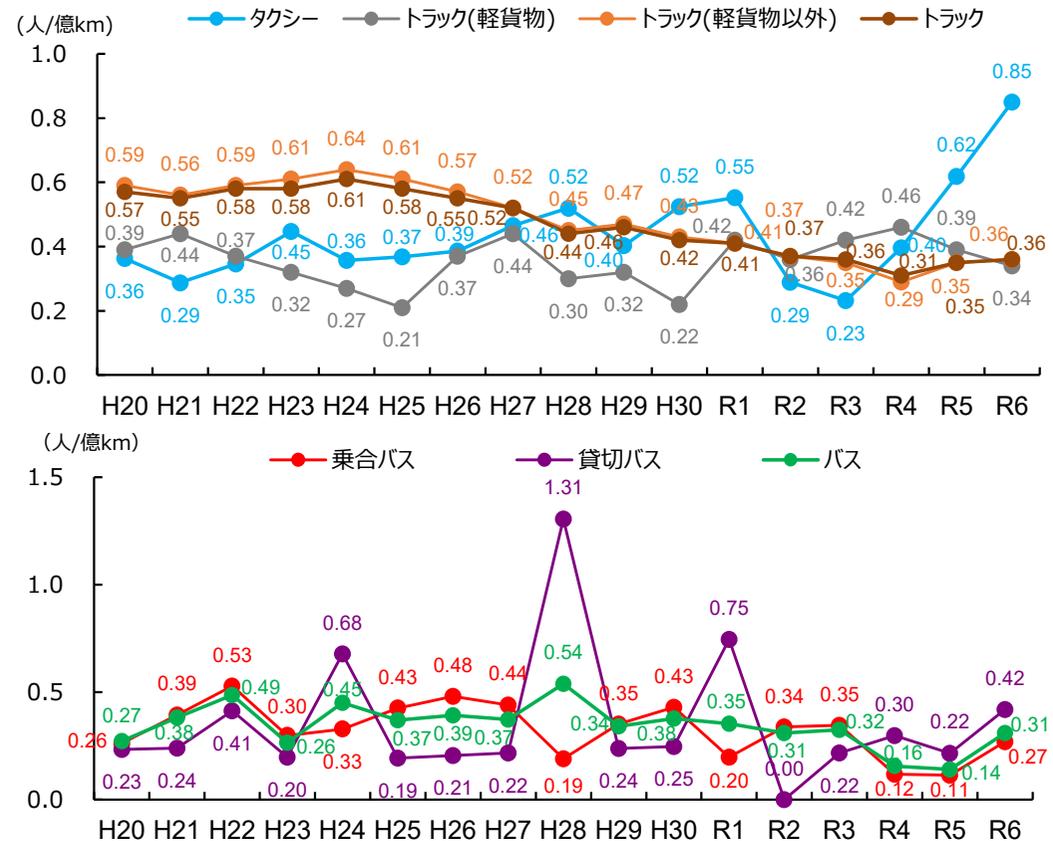
- 令和6年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は0.39人/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和6年の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、乗合バス及びタクシーにおいて増加している。

## 事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
国土交通省「自動車輸送統計調査」

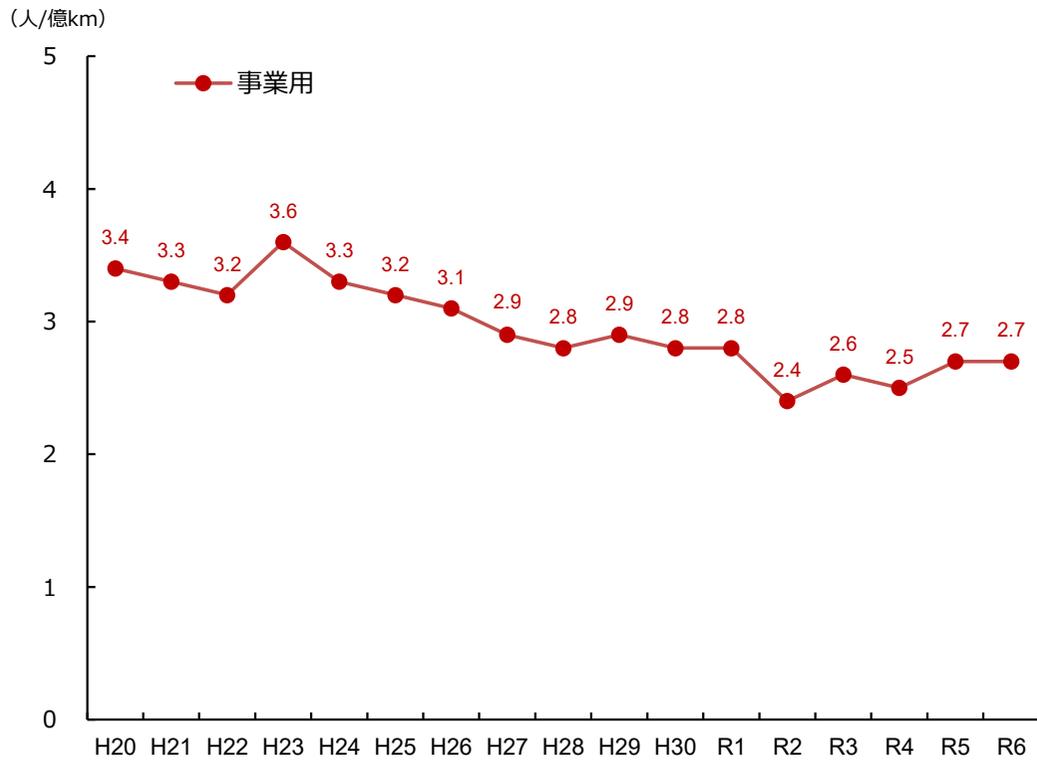
## 各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
国土交通省「自動車輸送統計調査」

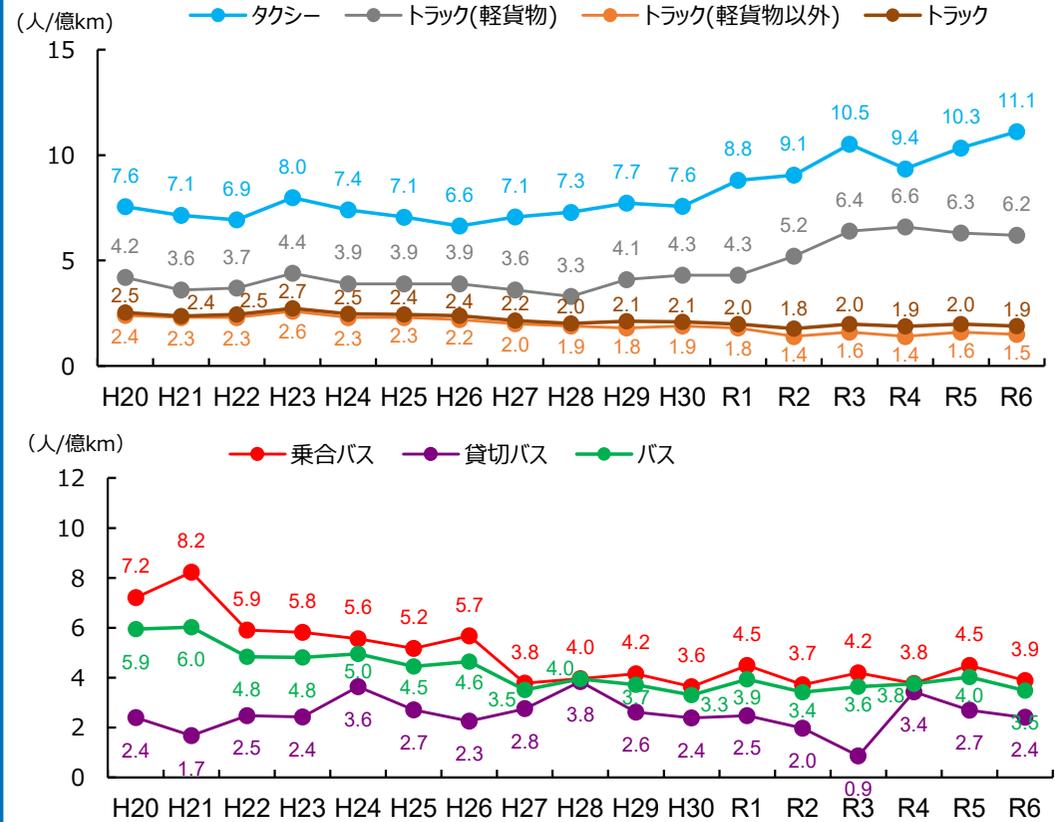
- 令和6年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数は2.7人/億km。
- 令和元年と比較して令和6年の走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数は、タクシー及び軽貨物において増加している。

## 事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
国土交通省「自動車輸送統計調査」

## 各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
国土交通省「自動車輸送統計調査」

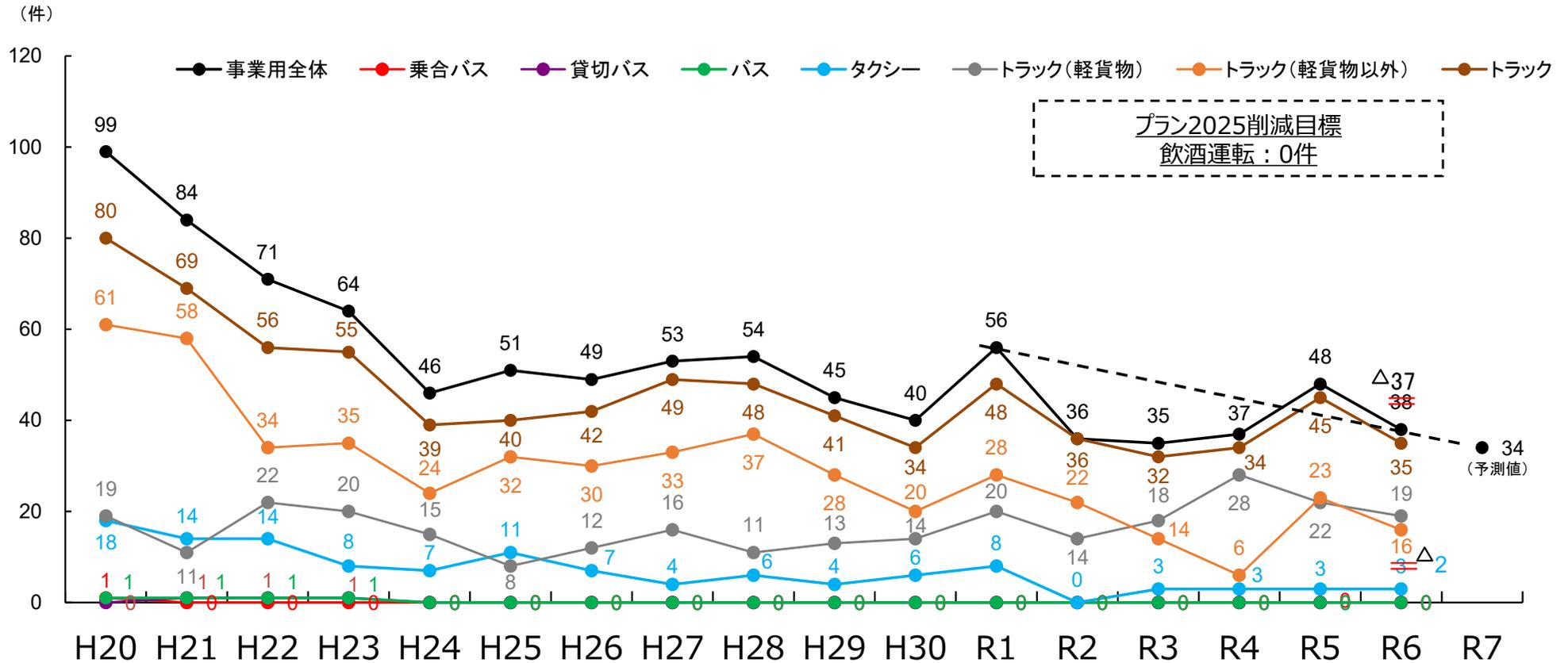
# 事業用自動車による飲酒運転事故件数の推移

△ 令和7年7月3日訂正  
 ・全体 38件→37件  
 ・タクシー 3件→2件

△37

- 事業用自動車による令和6年の飲酒運転事故件数は~~38~~件で、その内35件がトラックにおける事故。
- 令和元年と比較して令和6年の飲酒運転事故件数は、全モードにおいて減少している。

## 飲酒運転による事業用自動車の交通事故



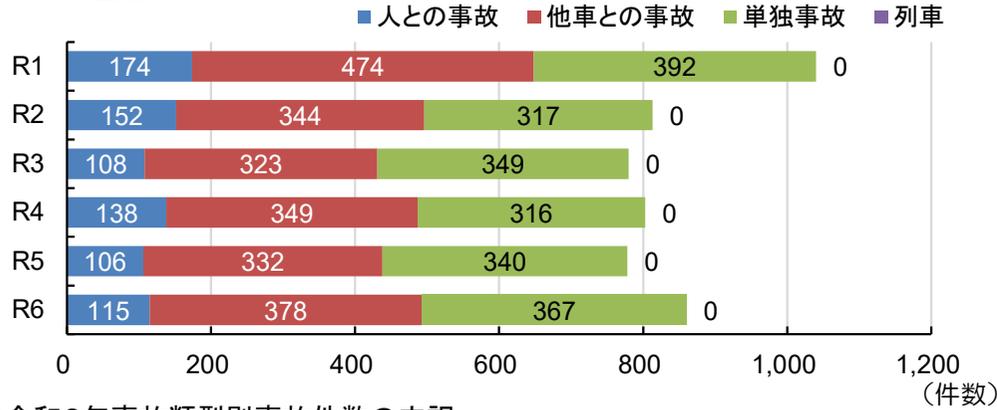
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 業態別の特徴的な事故(乗合バス)

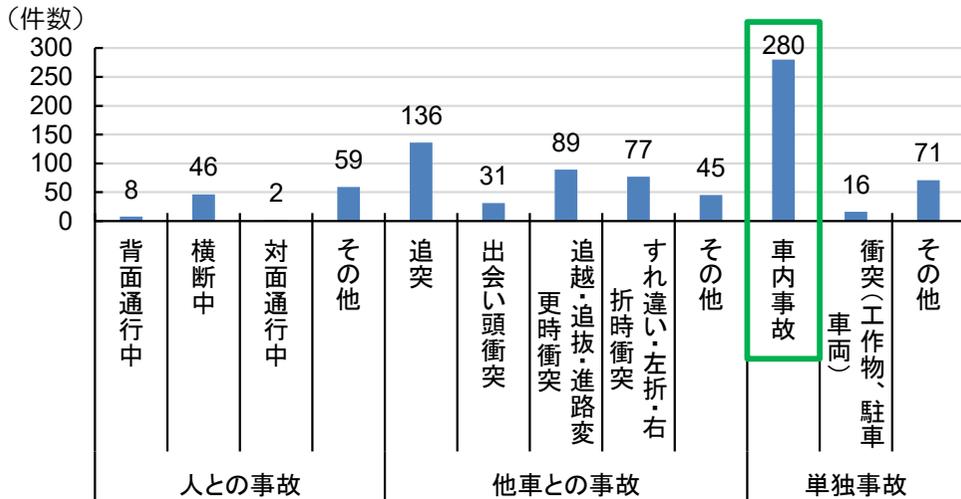
- 乗合バスの事故類型としては、「**車内事故**」が全体の約3割にあたる280件発生しており、最多。ただし、車内事故による**死亡事故**は発生していない。
- 乗合バスの死亡事故類型としては、「**横断中**」などの**人との事故**が多い。

## 乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

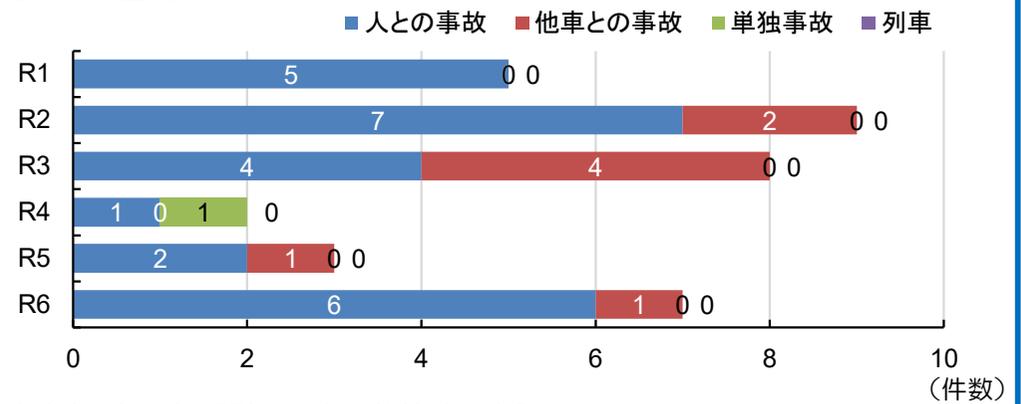


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

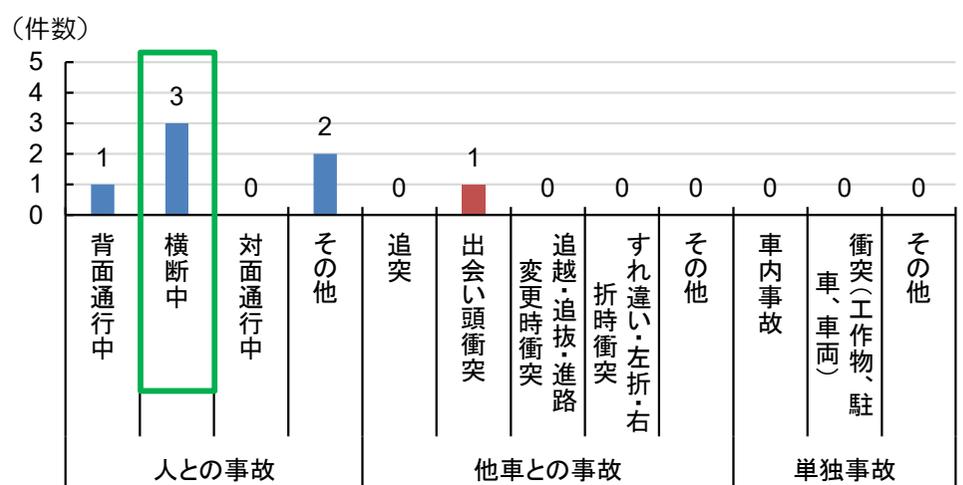


## 乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

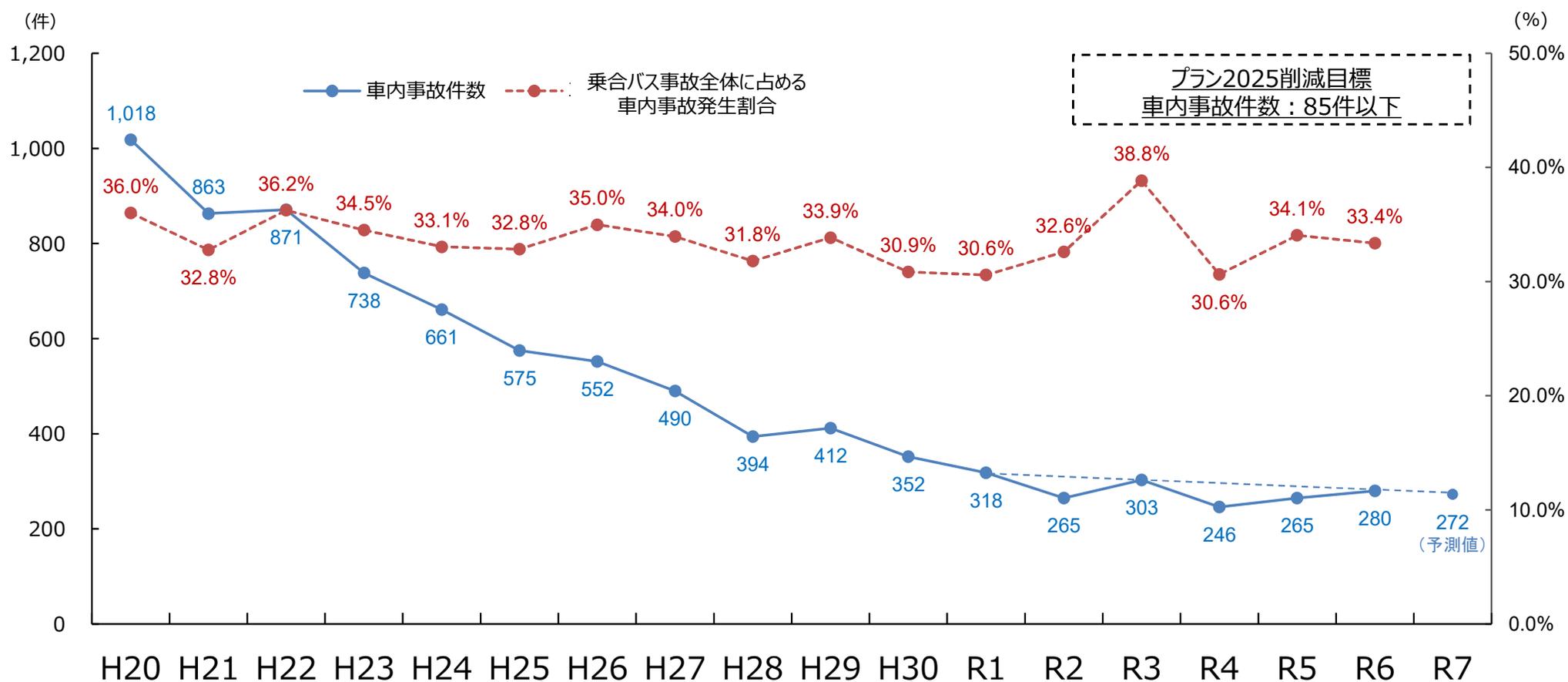


○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



- 乗合バスによる令和6年の車内事故件数は280件で、令和元年と比較して38件減であった。
- 乗合バス事故全体に占める車内事故件数の令和6年の割合は33.4%で、令和元年と比較して2.8pt増であった。

## 乗合バスによる車内事故件数と発生割合



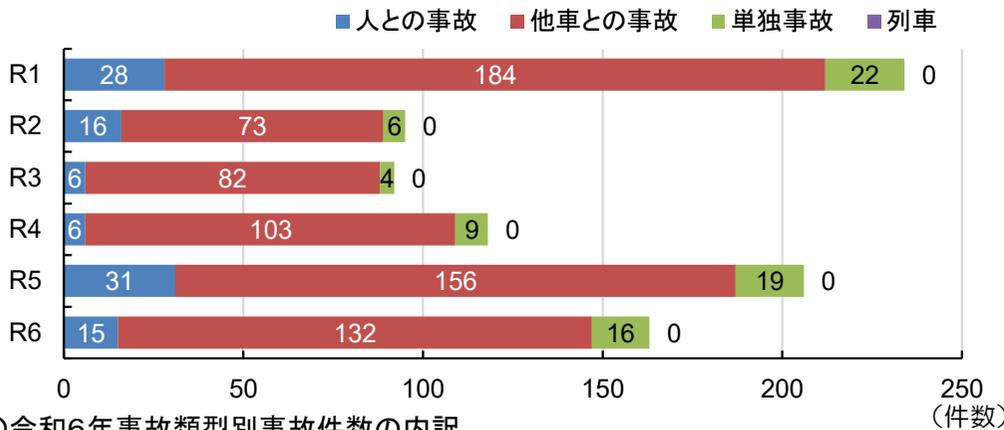
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 業態別の特徴的な事故(貸切バス)

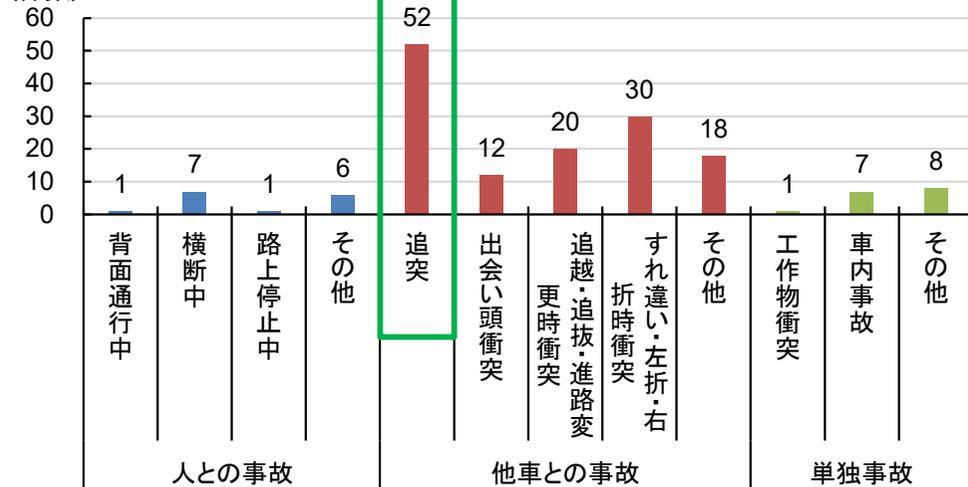
- 貸切バスの事故類型としては、「追突」が全体の約3割にあたる52件発生しており、最多。ただし、追突による死亡事故は発生していない。
- 貸切バスの死亡事故類型としては、人との事故のが多い。

## 貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

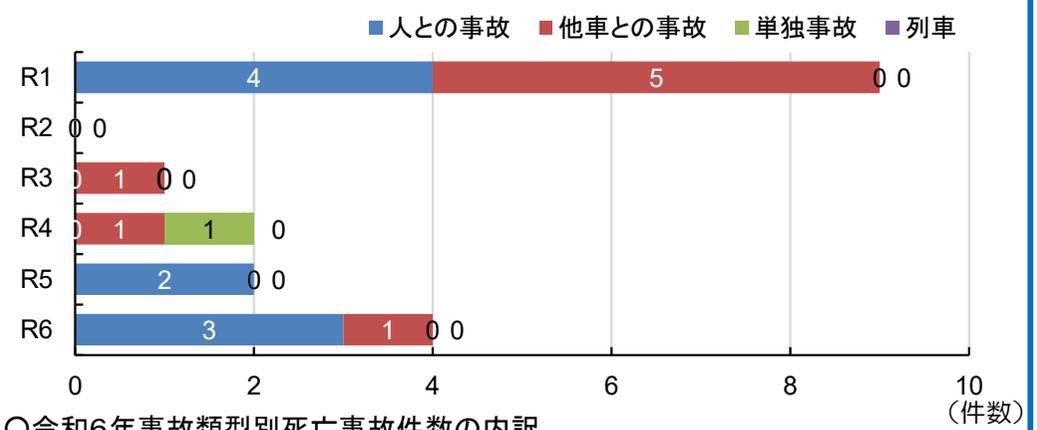


○令和6年事故類型別事故件数の内訳 (件数)

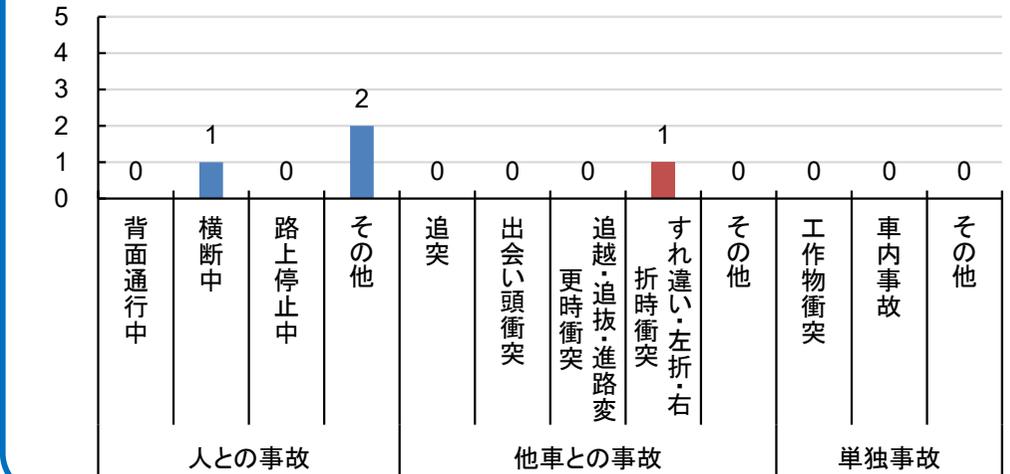


## 貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

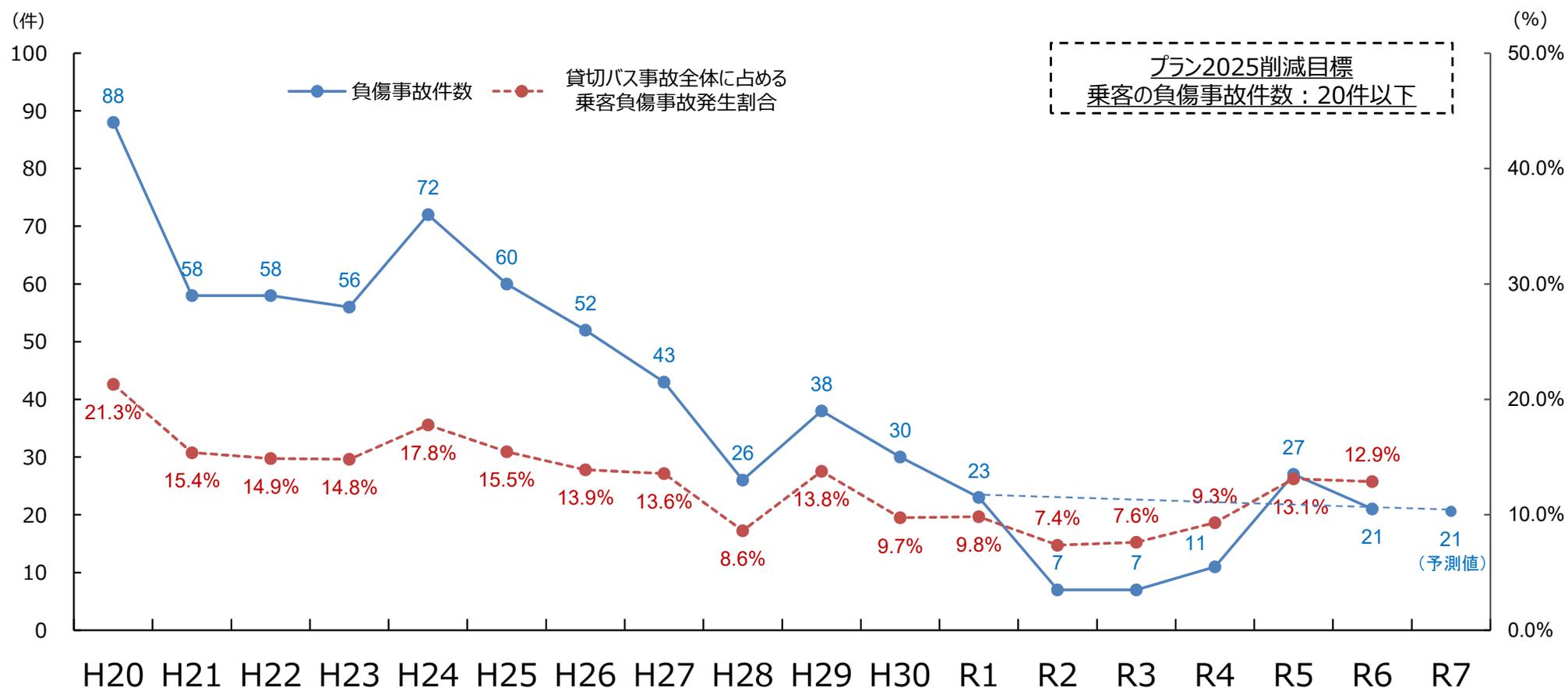


○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳 (件数)



- 貸切バスによる令和6年の乗客負傷事故件数は21件で、令和元年と比較して2件減であった。
- 貸切バス事故全体に占める乗客負傷事故件数の令和6年の発生割合は12.9%で、令和元年と比較して3.1pt増であった。

## 貸切バスによる乗客負傷事故件数と発生割合

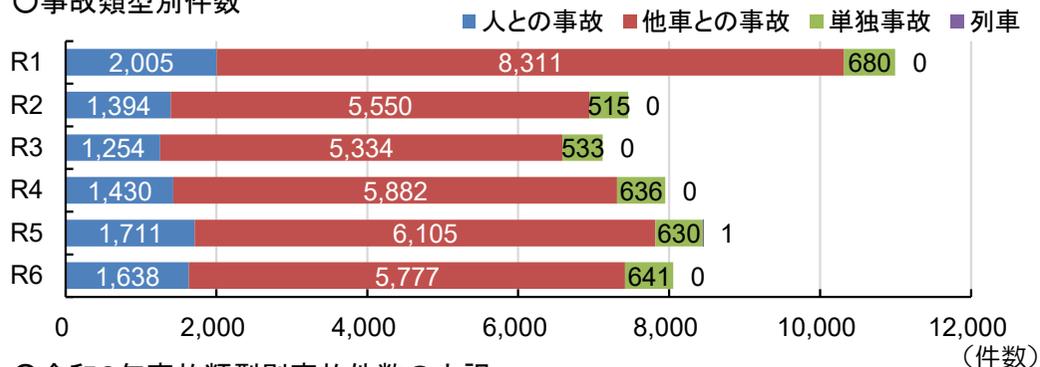


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

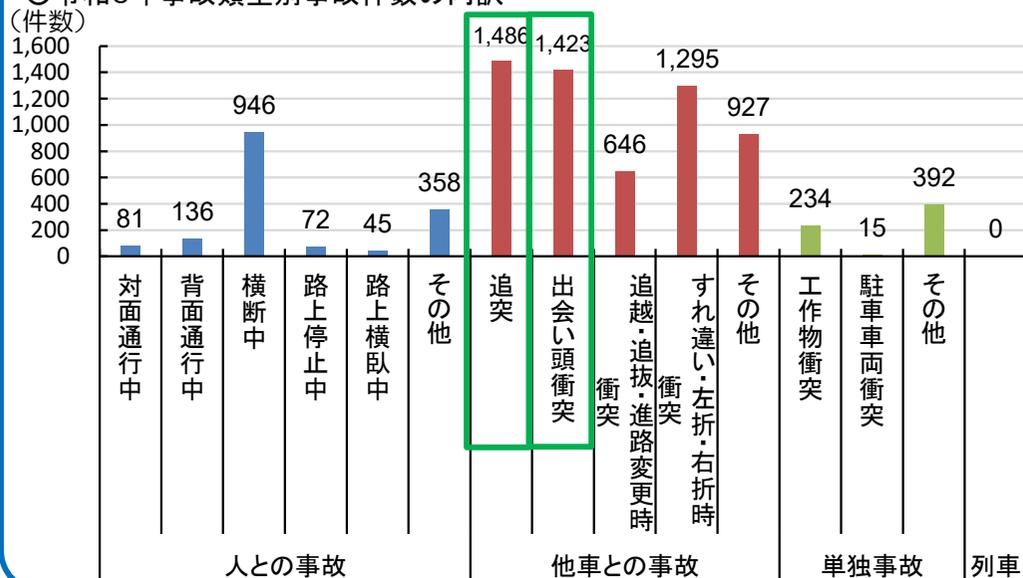
- タクシーの事故類型としては、「追突」、「出会い頭衝突」の順に多い。ただし、両方の事故ともに死亡事故は発生していない。
- タクシーの死亡事故類型としては、人との事故、特に路上横臥中が最も多い。

## タクシーの事故類型

○事故類型別件数

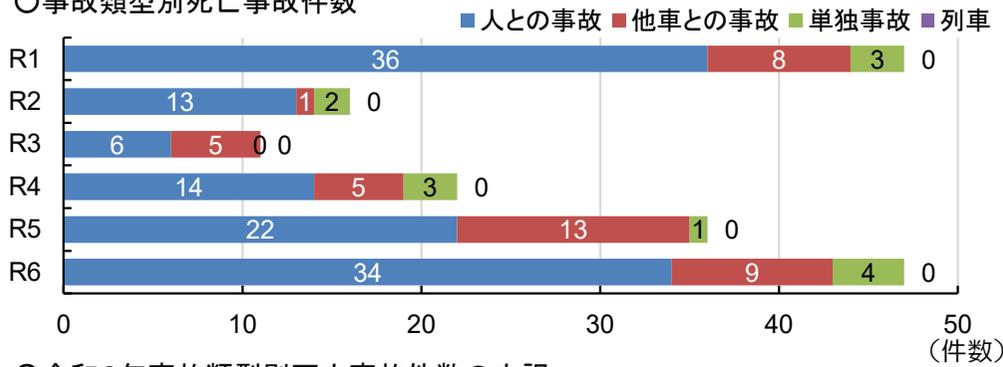


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

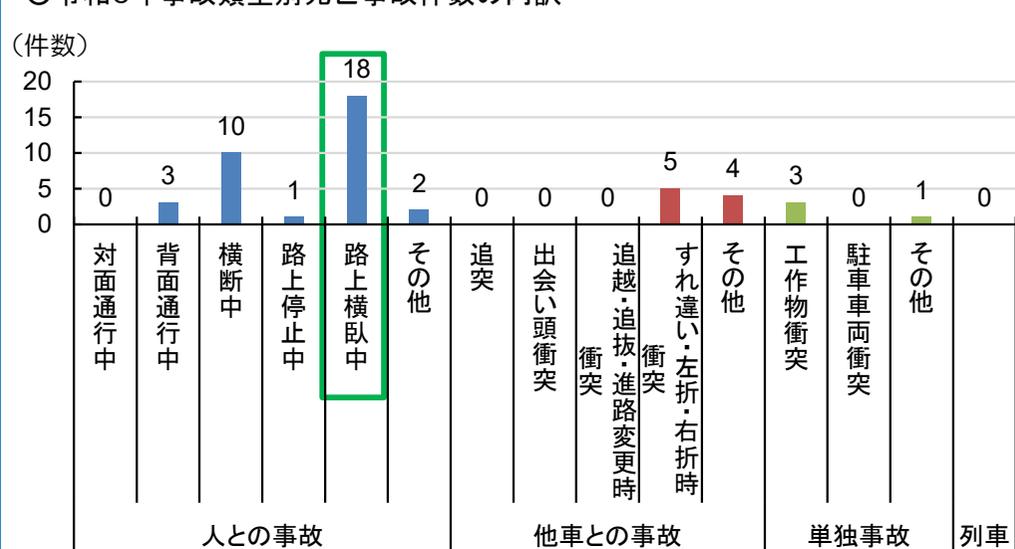


## タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳

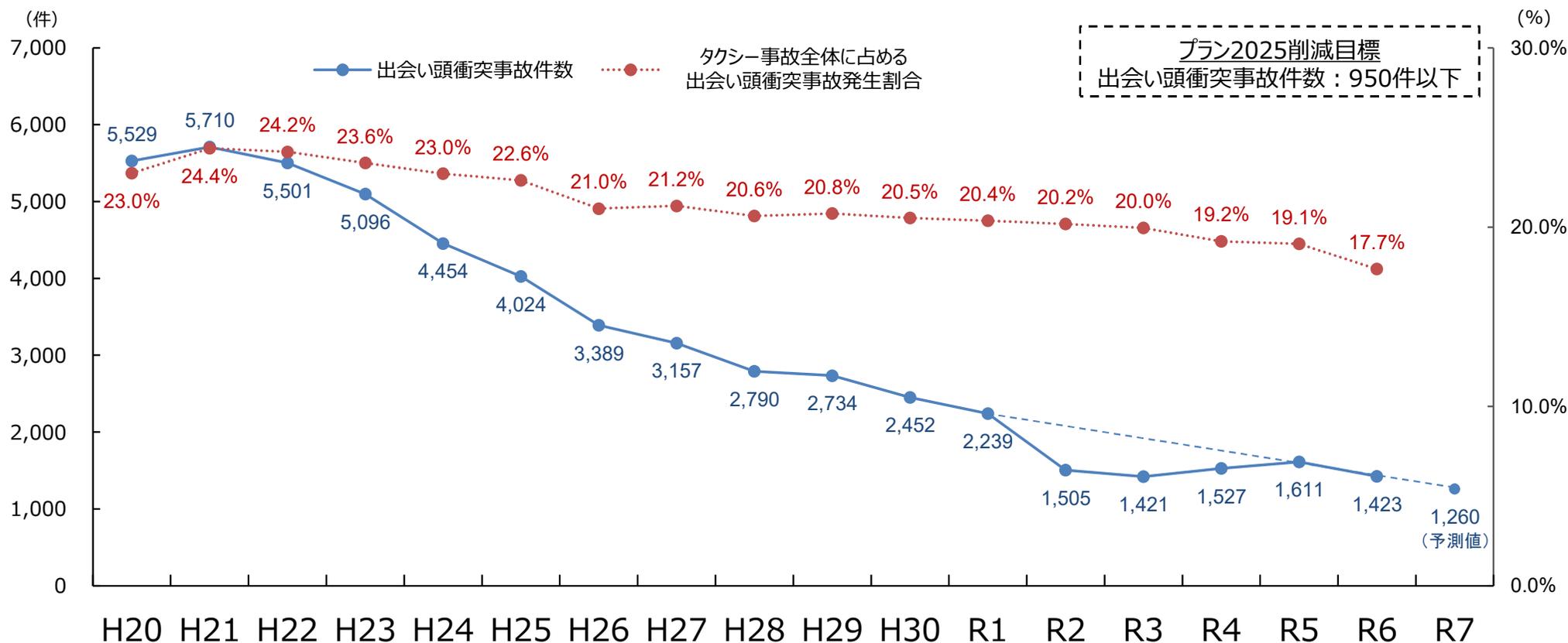


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# タクシーによる出会い頭衝突事故件数の推移

- タクシーによる令和6年の出会い頭衝突事故件数は1,423件で、令和元年と比較して816件減であった。
- タクシー事故全体に占める出会い頭衝突事故件数の令和6年の発生割合は17.7%で、令和元年と比較して2.7pt減であった。

## タクシーによる出会い頭衝突事故件数と発生割合



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 業態別の特徴的な事故(トラック)

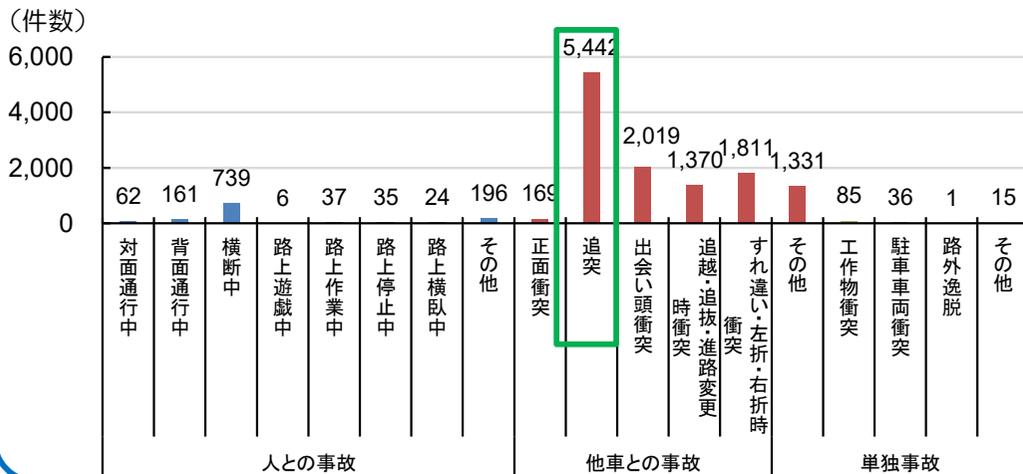
- トラックの事故類型としては、「追突」が全体の約4割にあたる5,442件発生しており、最多。追突による死亡事故も38件発生している。
- トラックの死亡事故事故類型としては、「横断中」の人との事故が最も多い。

## トラックの事故類型

○事故類型別件数

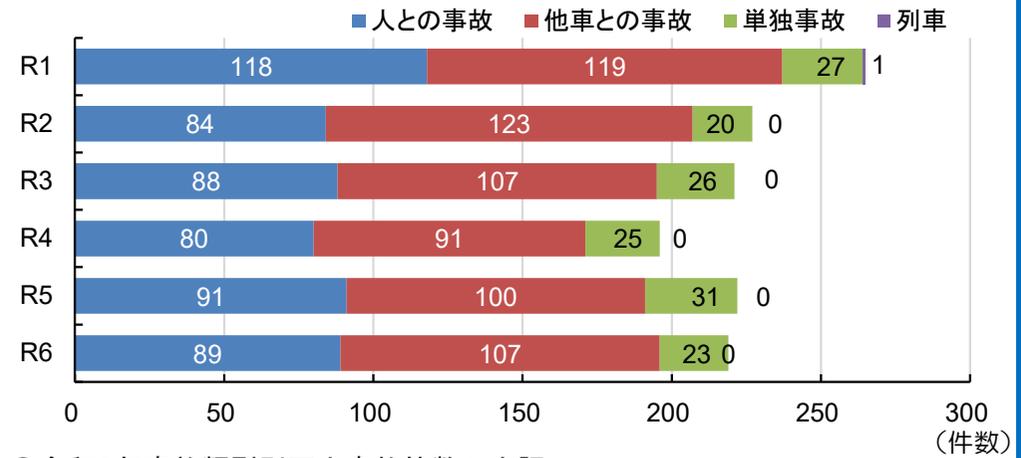


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

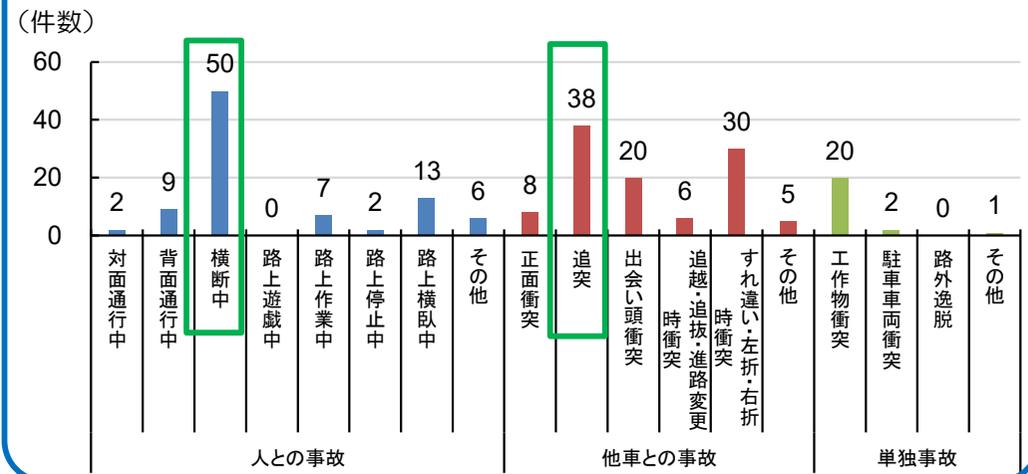


## トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳

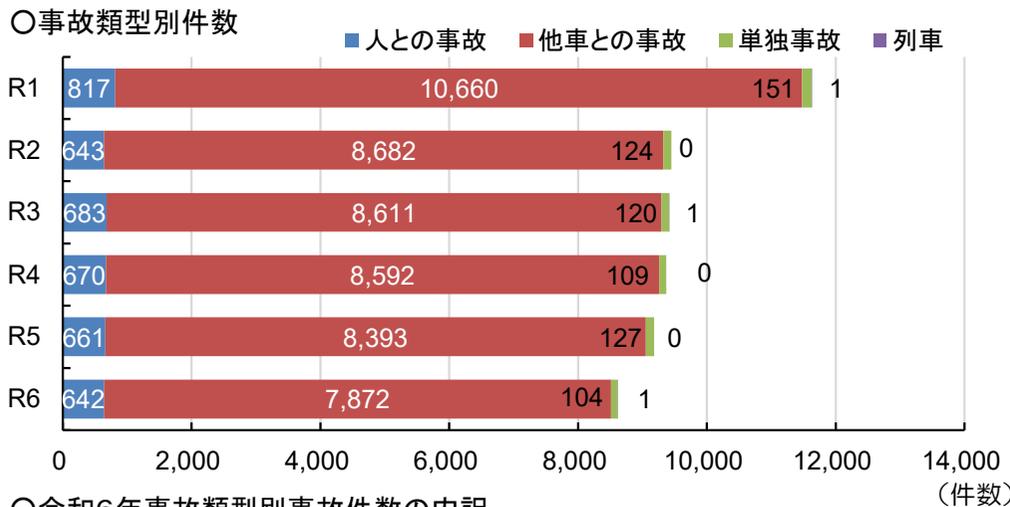


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

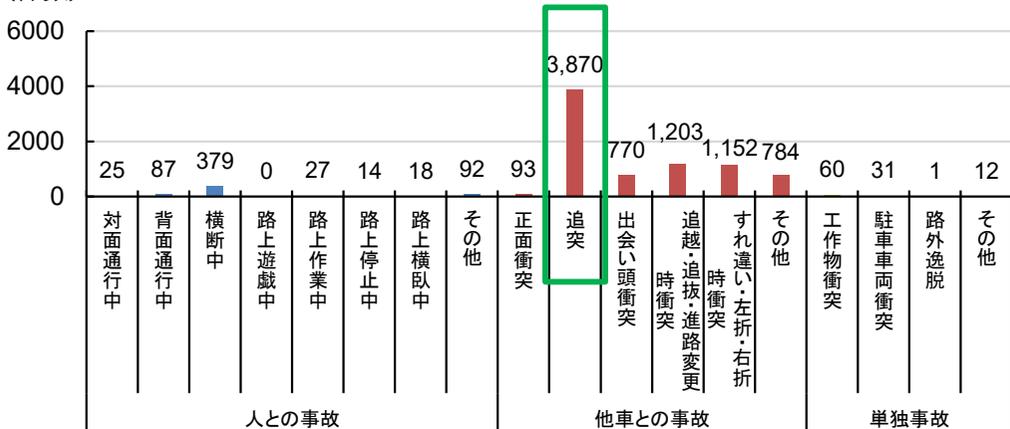
# 業態別の特徴的な事故(軽貨物以外のトラック)

- 軽貨物以外のトラックの事故類型としては、「追突」が全体の約5割にあたる3,870件発生しており、最多。追突による死亡事故も38件発生している。
- 軽貨物以外のトラックの死亡事故事故類型としては、「横断中」の人との事故、「追突」が多い。

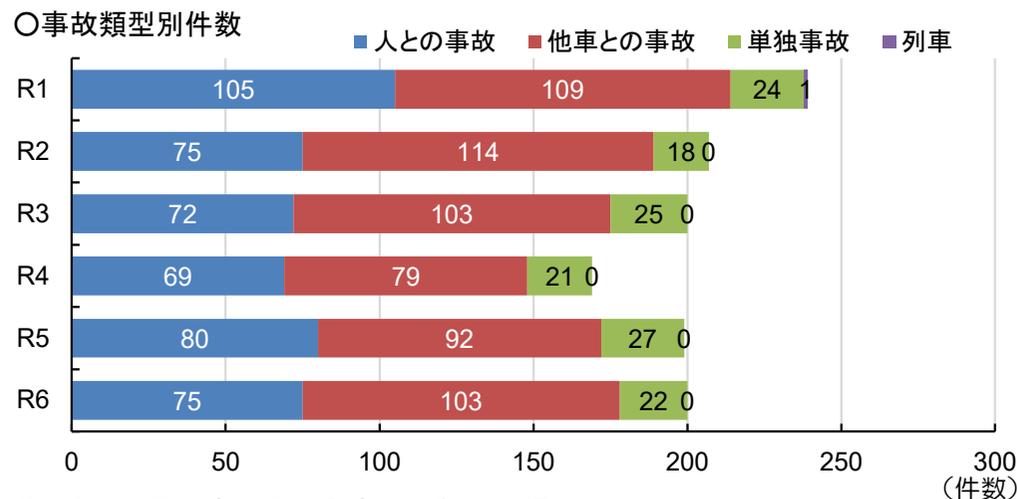
## 軽貨物以外のトラックの事故類型



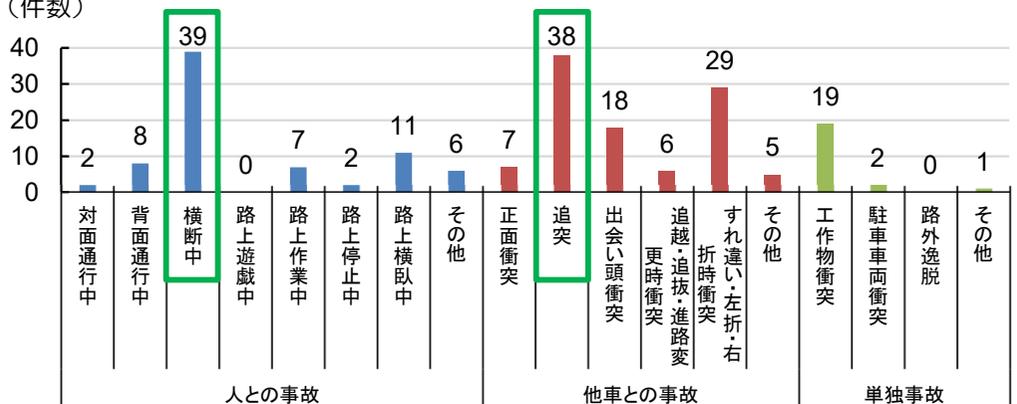
○令和6年事故類型別事故件数の内訳 (件数)



## 軽貨物以外のトラックの死亡事故類型



○令和6年死亡事故類型別事故件数の内訳 (件数)



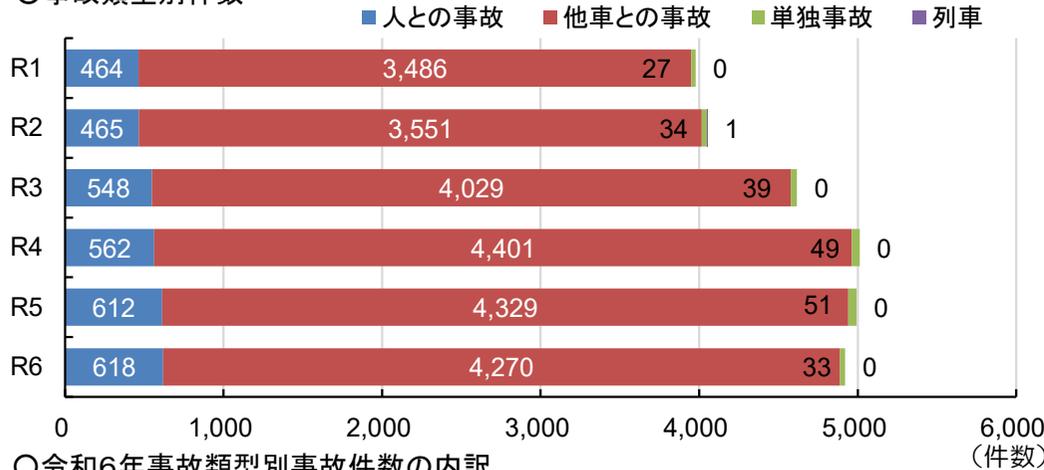
出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 業態別の特徴的な事故(軽貨物)

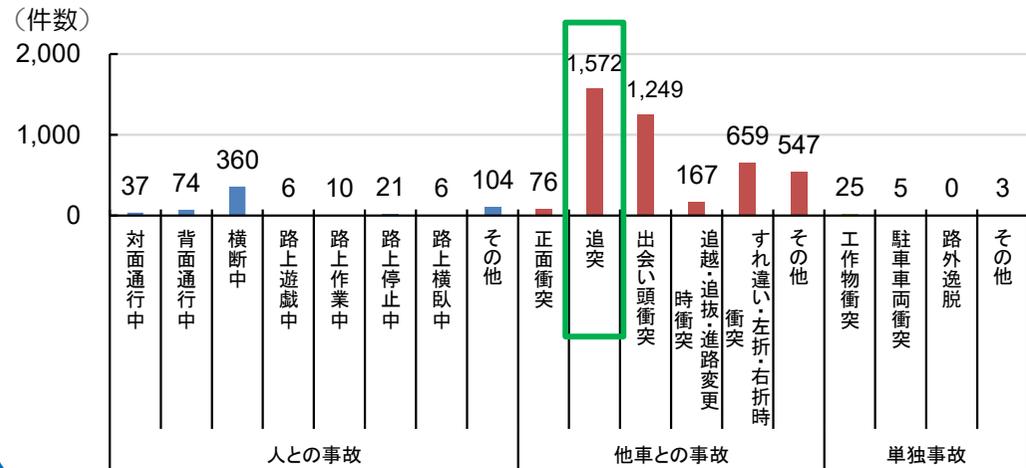
- 軽貨物の事故類型としては、「追突」が全体の約3割にあたる1,572件発生しており、最多。ただし、追突による死亡事故は発生していない。
- 軽貨物の死亡事故事故類型としては、「横断中」の人との事故が最も多い。

## 軽貨物の事故類型

○事故類型別件数

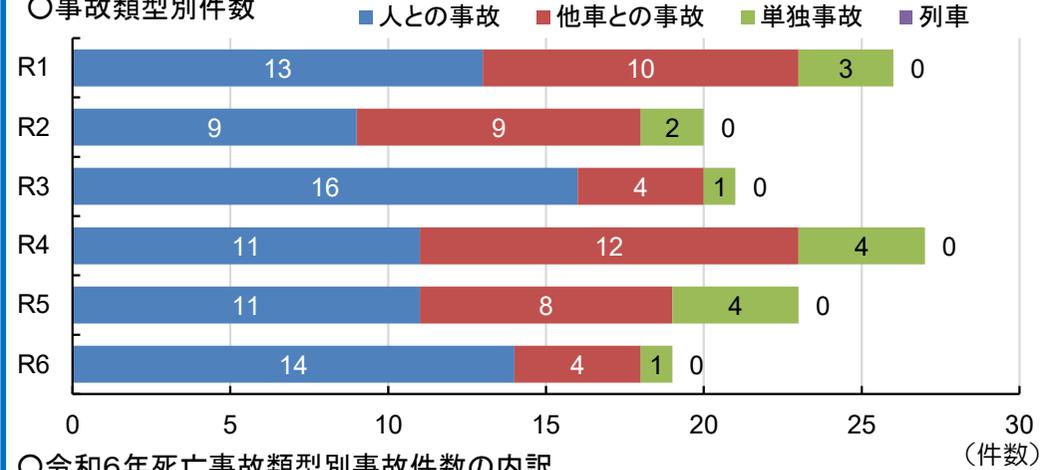


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

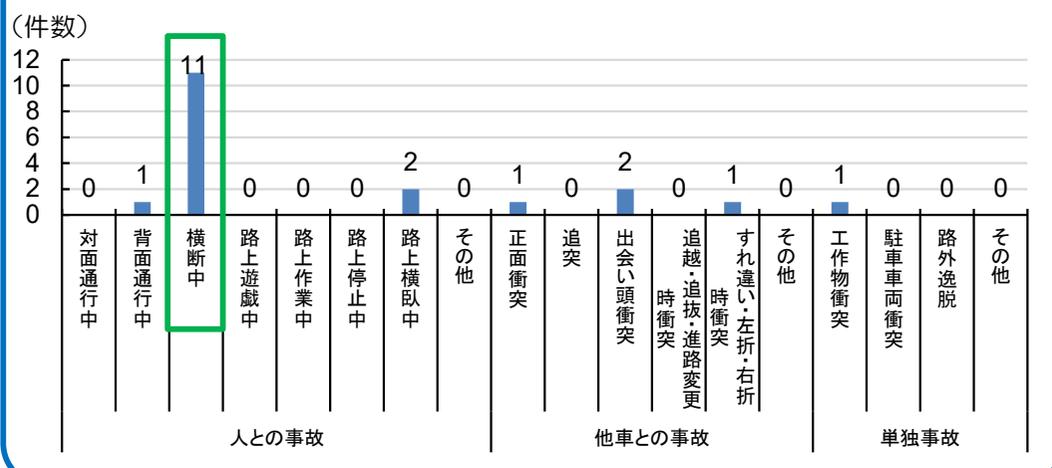


## 軽貨物の死亡事故類型

○事故類型別件数



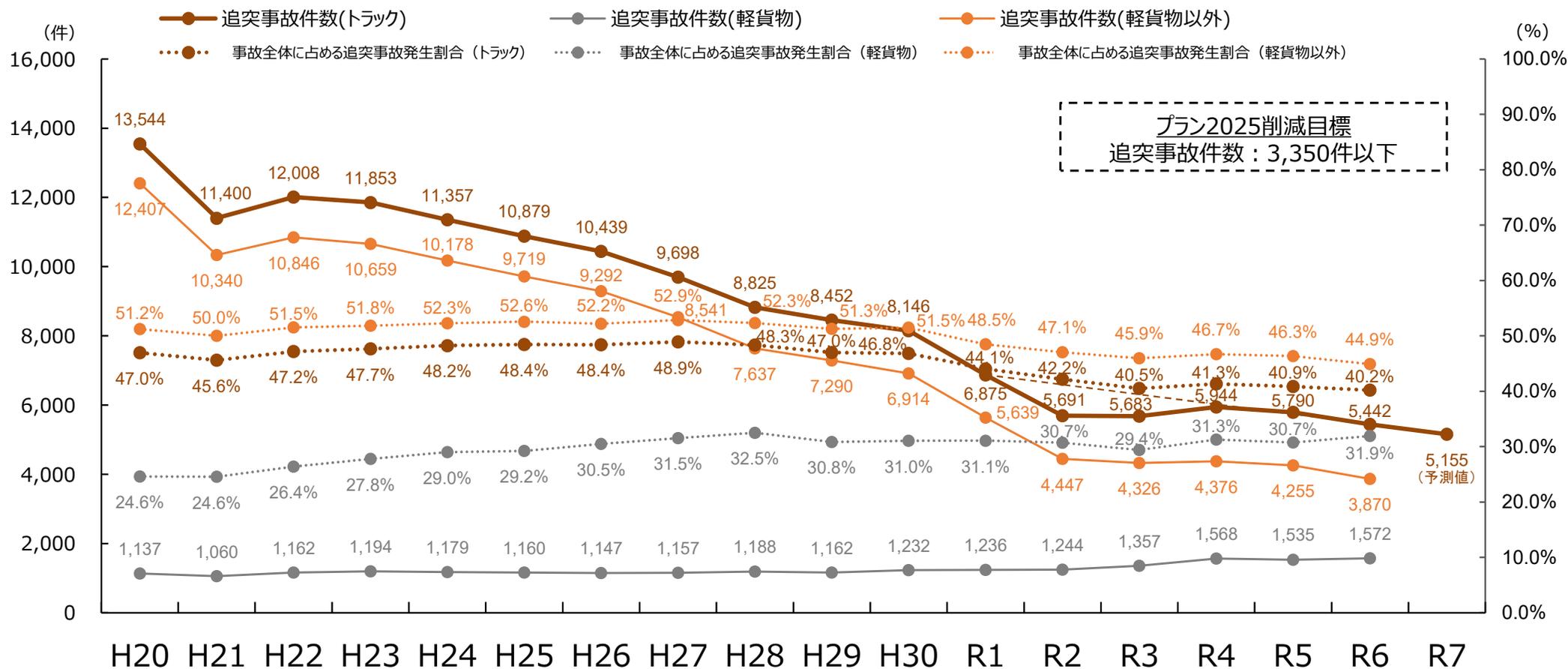
○令和6年死亡事故類型別事故件数の内訳



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- トラックによる令和6年の追突事故件数は5,442件で、令和元年と比較して1,433件減であった。
- トラック事故全体に占める追突事故件数の令和6年の発生割合は40.2%で、令和元年と比較して3.9pt減であった。

## トラックによる追突事故件数と事故発生割合

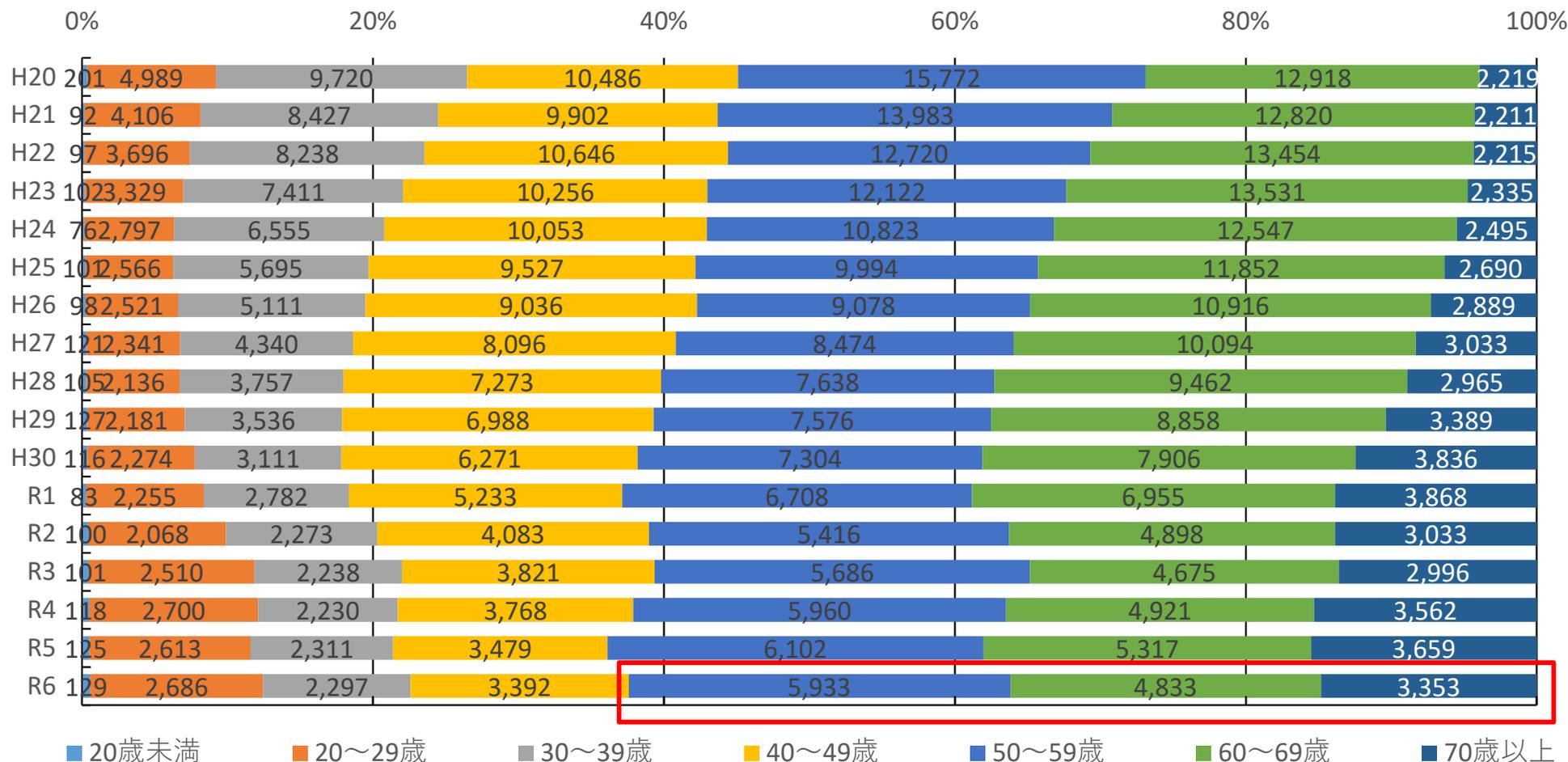


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

# 運転者の年齢層別事故の推移(事業用自動車)

○ 事業用自動車の事故のうち、50歳以上の運転者による事故の割合が約6割を占める。

事業用自動車全体

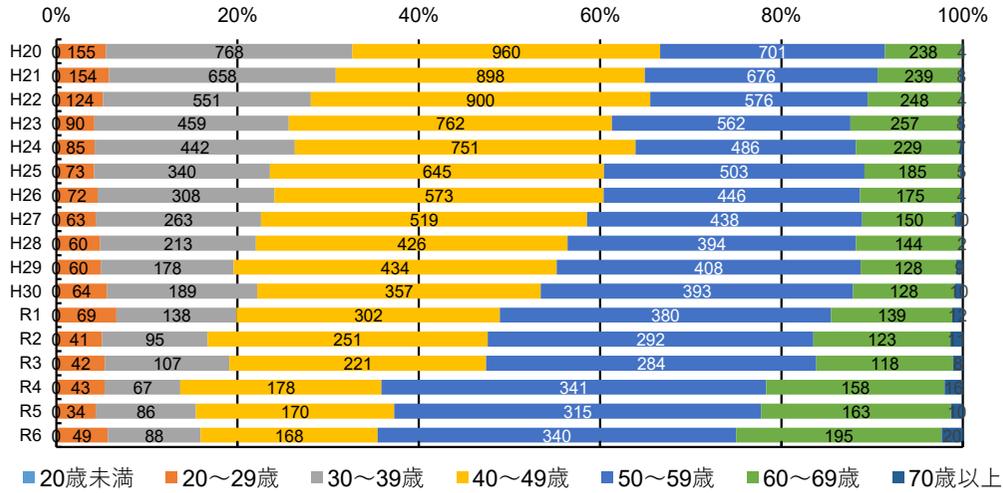


出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

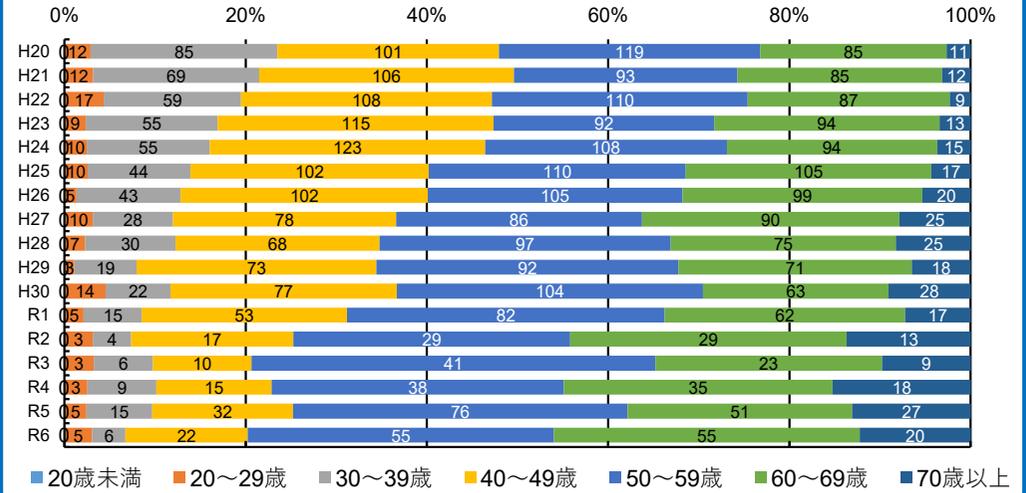
# 運転者の年齢層別事故の推移(バス、タクシー)

- バスは、50歳以上の運転者による事故の割合が増加傾向。
- タクシーは、70歳以上運転者による事故の割合が増加傾向。

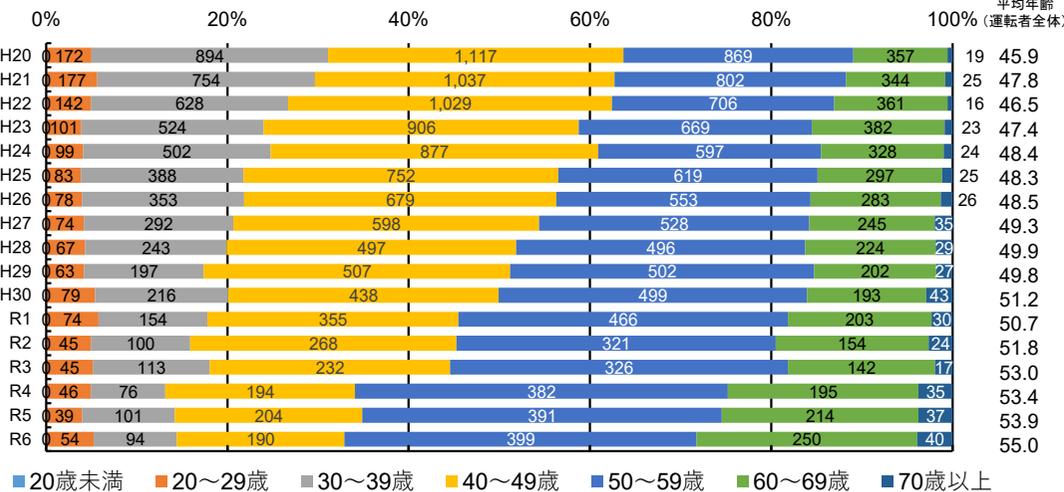
## 乗合バス



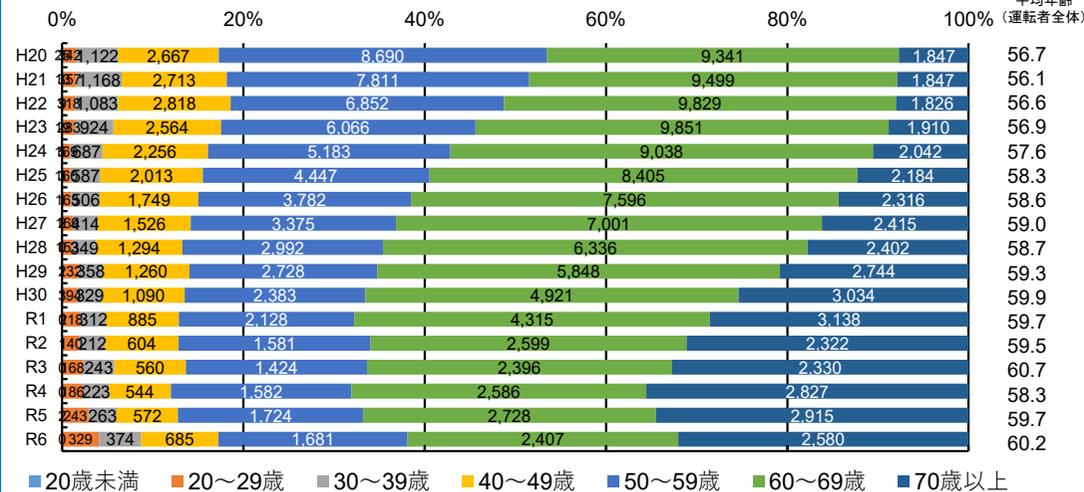
## 貸切バス



## バス



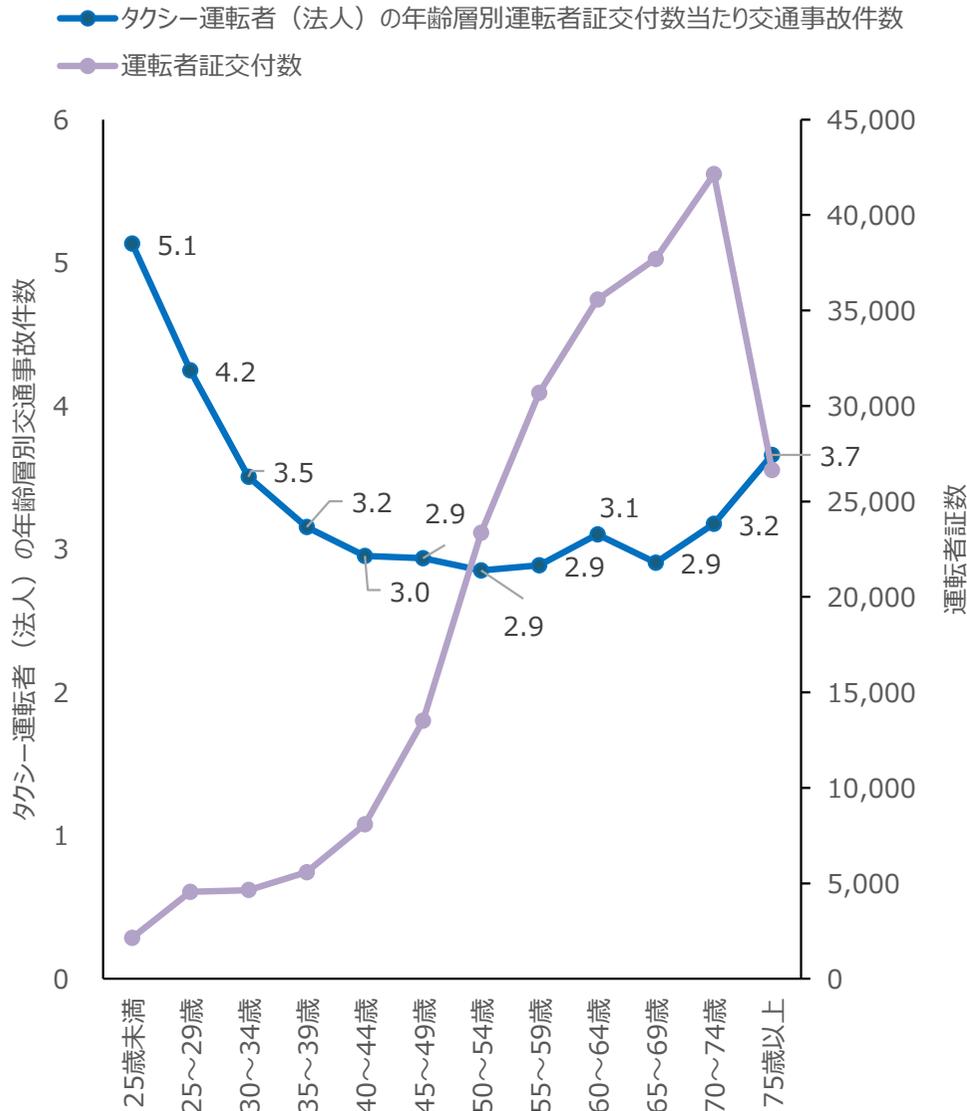
## タクシー



# 年齢層別の運転者証交付数に対する事故件数(タクシー)

○ タクシーは、29歳以下の若年層や75歳以上の運転者による事故率が高い。この傾向は、自動車事故全体でも同様である。

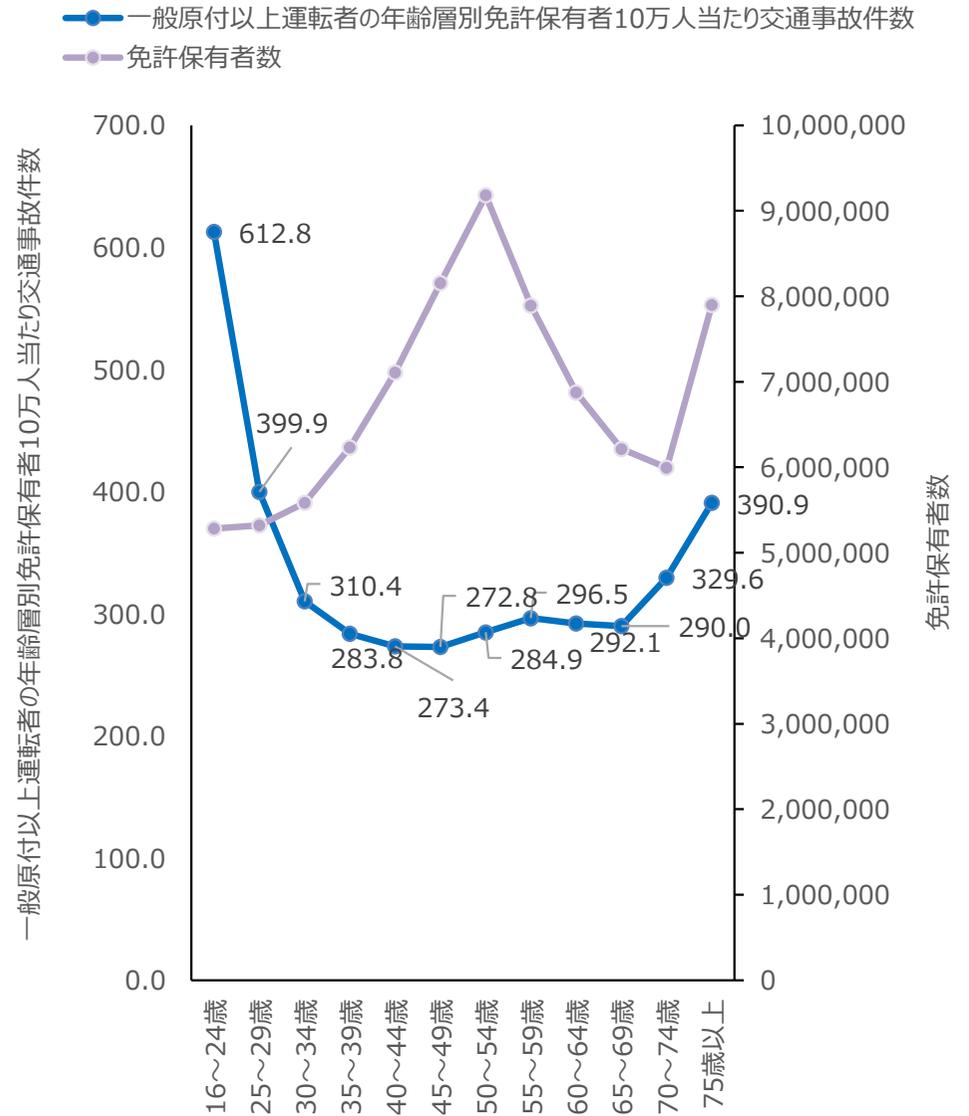
## タクシー



※ 本ページに限りタクシーは法人のみのデータ

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」(令和6年)  
(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会(令和6年3月)

## 参考(自動車全体)

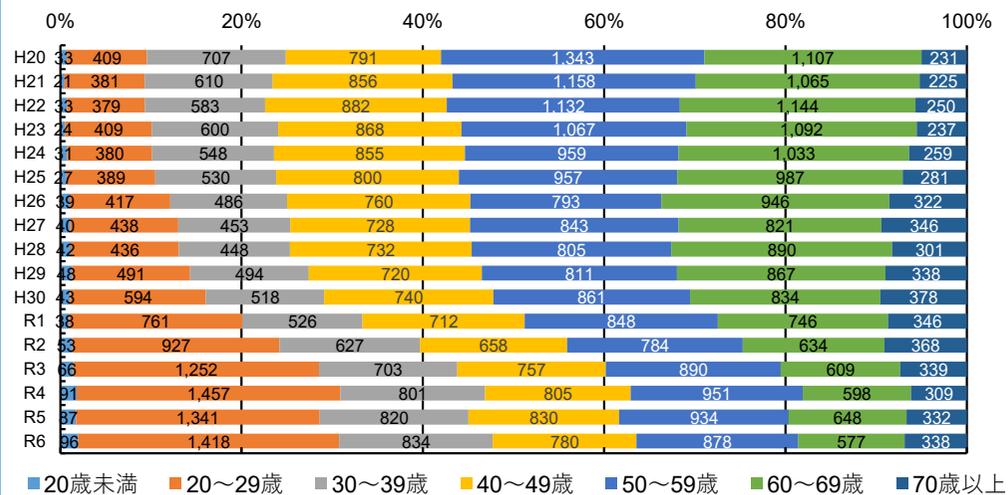


出典：警察庁「交通事故の発生状況」(令和6年)

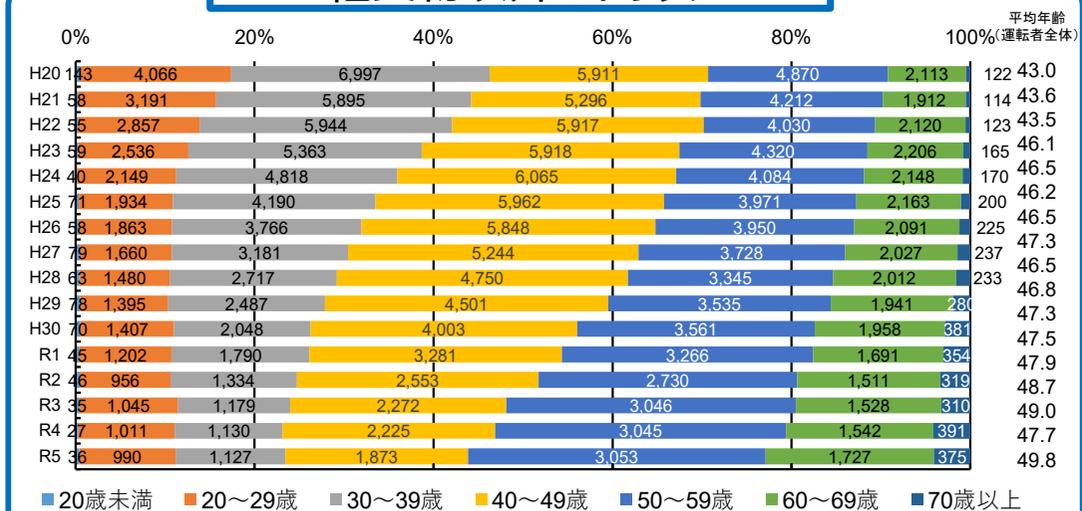
# 運転者の年齢別層事故の推移(トラック、事業用自動車)

- 軽貨物は、20～29歳の運転者による事故の割合が増加傾向。
- 軽貨物以外のトラックは、50歳以上の運転者による事故の割合が増加傾向。

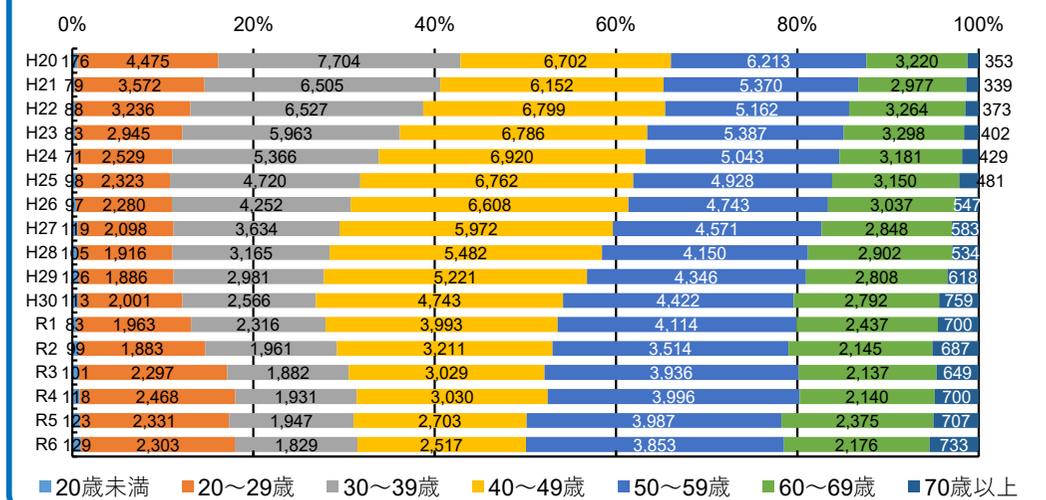
## 軽貨物



## 軽貨物以外のトラック



## トラック



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

# 日本国籍以外の者における事故件数の割合

○ 日本国籍以外の者における事故件数の割合は年々増加傾向にあり、とくに軽貨物における割合が大きい。

